

令和3年度

# 当初予算の概要

---

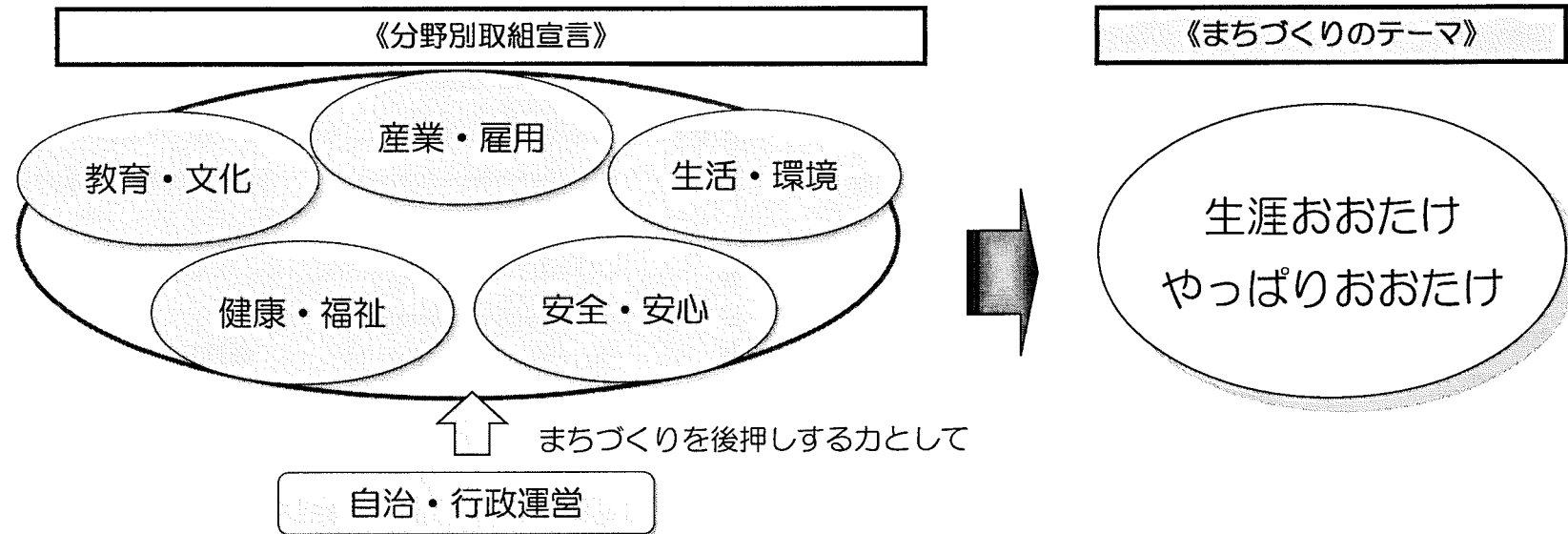
令和3年度 当初予算の基本的方向	1	当初予算主要事業	1 2
I 会計別当初予算の編成状況	2	1 教育・文化	1 4
II 一般会計当初予算の概要	4	2 産業・雇用	1 6
1 歳入の特徴	6	3 生活・環境	1 7
2 歳出の特徴	8	4 安全・安心	2 2
【一般会計当初予算グラフ】	9	5 健康・福祉	2 3
【資料編】	1 0	6 自治・行政運営	2 8
		◎ 令和3年度当初予算における再編交付金充当事業	3 0
		◎ 令和3年度主要建設事業実施MAP	3 1
		◎ 各施設のご案内	3 2
		問い合わせ先一覧	3 5

---

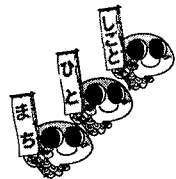
大 竹 市

# 令和3年度当初予算の基本的方向

第1期大竹市まちづくり基本計画では、「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」をまちづくりのテーマとして設定しています。未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けた施策を展開していきます。



第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、本市のまち・ひと・しごと創生に関する計画として、第1期基本計画と一体的に策定・推進するため、3つの基本目標を設定しています。



1. 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する
2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
3. 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

予算編成にあたっては、まちづくり基本構想に掲げる未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けて、地方創生事業を推進するため、第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業を盛り込んでいます。

## I 会計別当初予算の編成状況

一般会計の予算規模は、155億6,357万7千円で、前年度に比べ12.5%の減となりました。「本庁舎耐震改修事業」、「大竹会館改築等事業」など、継続して進めていた普通建設事業の完了などが要因です。

7つの特別会計の合計は、68億9,998万8千円です。国民健康保険特別会計の1人あたりの医療費の増による保険給付費の増はあるものの、介護保険特別会計の給付費の減により、全体で前年度に比べ2.7%の減となりました。

一般会計と特別会計の合計は、224億6,356万5千円で、前年度に比べ9.7%の減となっています。

3つの企業会計の支出の合計は、43億5,798万1千円です。水道事業会計の配水設備改良費の増などにより、前年度に比べ21.2%の増となっています。

一般会計、特別会計及び企業会計の合計は268億2,154万6千円で、前年度に比べ5.8%の減となっています。

### ◎◎◎ 会計別予算 ◎◎◎

単位：千円，%

	3年度	2年度	対前年度比	
			増減額	増減率
一般会計	15,563,577	17,793,652	▲ 2,230,075	▲ 12.5
特別会計	6,899,988	7,094,464	▲ 194,476	▲ 2.7
1 国民健康保険特別会計	3,316,569	3,238,654	77,915	2.4
2 漁業集落排水特別会計	46,494	33,887	12,607	37.2
3 農業集落排水特別会計	49,318	48,244	1,074	2.2
4 港湾施設管理受託特別会計	64,474	67,388	▲ 2,914	▲ 4.3
5 土地造成特別会計	290,934	292,384	▲ 1,450	▲ 0.5
6 介護保険特別会計	2,619,881	2,907,001	▲ 287,120	▲ 9.9
7 後期高齢者医療特別会計	512,318	506,906	5,412	1.1
合計	22,463,565	24,888,116	▲ 2,424,551	▲ 9.7

### 《企業会計》

単位：千円，%

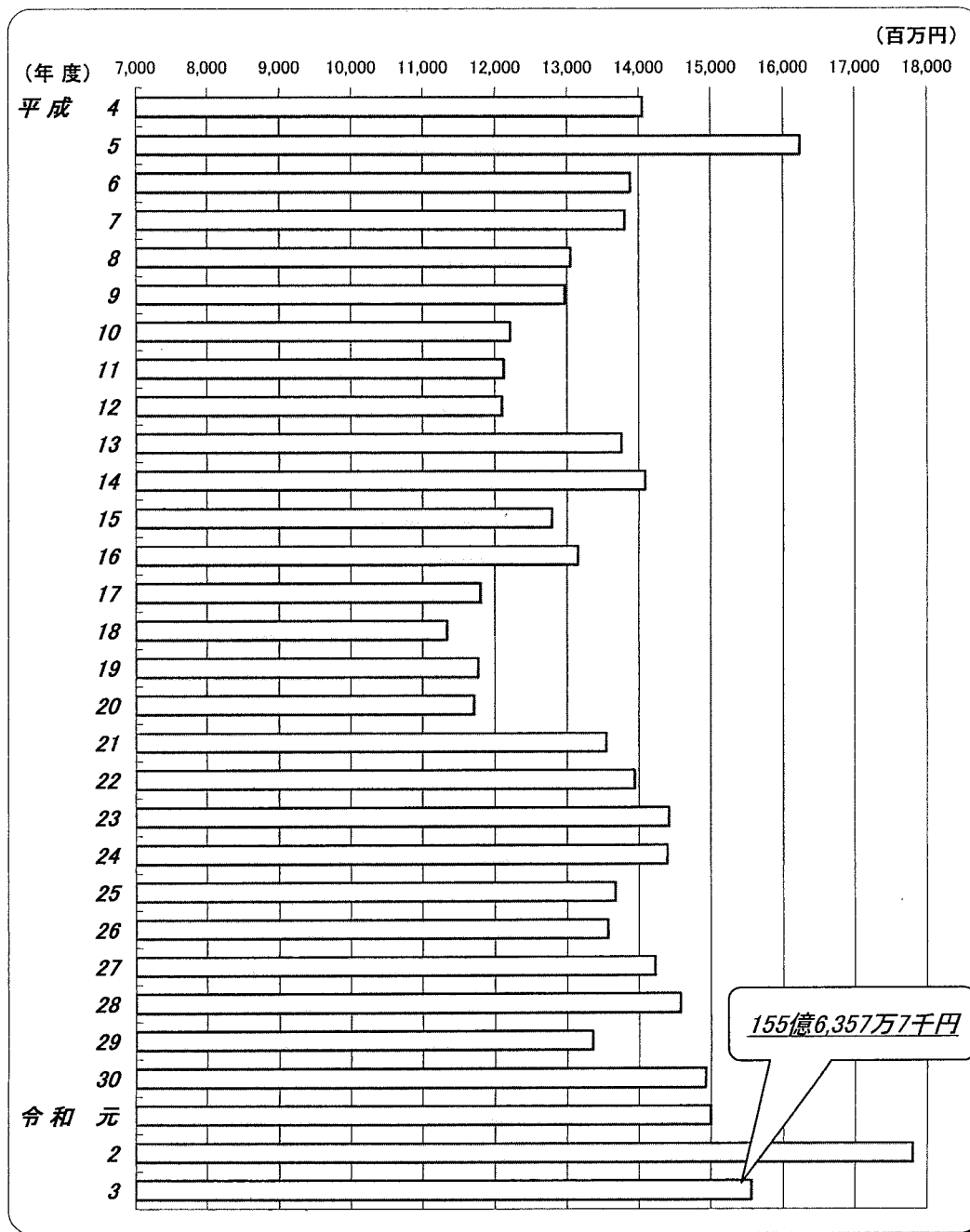
		3年度	2年度	対前年度比	
				増減額	増減率
水道事業会計					
収益的	収入	578,351	559,099	19,252	3.4
	支出	553,572	557,781	▲ 4,209	▲ 0.8
資本的	収入	247,504	139,846	107,658	77.0
	支出	779,743	354,183	425,560	120.2
工業用水道事業会計					
収益的	収入	551,097	552,363	▲ 1,266	▲ 0.2
	支出	459,586	471,060	▲ 11,474	▲ 2.4
資本的	収入	182,001	192,701	▲ 10,700	▲ 5.6
	支出	519,024	492,866	26,158	5.3
公共下水道事業会計					
収益的	収入	1,043,069	1,003,935	39,134	3.9
	支出	972,740	996,424	▲ 23,684	▲ 2.4
資本的	収入	1,182,032	575,311	606,721	105.5
	支出	1,073,316	722,335	350,981	48.6

【一般会計当初予算の推移】

単位:千円, %

年度	当初予算規模	対前年度伸び率	《参考》最終予算額
平成 4	14,060,914	14.5	14,012,900
5	16,241,853	15.5	17,242,949
6	13,889,956	▲ 14.5	13,870,385
7	13,803,861	▲ 0.6	14,581,664
8	13,048,192	▲ 5.5	14,050,875
9	12,965,635	▲ 0.6	13,223,610
10	12,211,020	▲ 5.8	14,427,535
11	12,121,383	▲ 0.7	14,456,844
12	12,102,194	▲ 0.2	12,324,258
13	13,761,143	13.7	15,373,572
14	14,087,867	2.4	14,265,959
15	12,786,158	▲ 9.2	12,032,324
16	13,148,777	2.8	13,364,554
17	11,803,360	▲ 10.2	12,440,260
18	11,338,627	▲ 3.9	11,692,281
19	11,770,193	3.8	12,269,904
20	11,716,260	▲ 0.5	12,798,330
21	13,541,552	15.6	15,270,309
22	13,939,452	2.9	14,545,921
23	14,417,001	3.4	14,995,090
24	14,400,188	▲ 0.1	14,999,838
25	13,669,310	▲ 5.1	14,068,289
26	13,572,848	▲ 0.7	14,008,526
27	14,224,130	4.8	15,106,127
28	14,572,914	2.5	15,776,748
29	13,357,606	▲ 8.3	14,399,043
30	14,924,608	11.7	15,770,518
令和 元	14,992,188	0.5	16,039,589
2	17,793,652	18.7	※ 22,056,312
3	15,563,577	▲ 12.5	—

※ 補正第15号までの予算額を計上



## II 一般会計当初予算の概要

令和3年度は、まちづくりの理念や将来像を示す「大竹市まちづくり基本構想」のスタートの年度になります。これまで取り組んできた大竹市の課題に、引き続きしっかりと取り組むとともに、新たに「阿多田フェリーの新船建造」「大竹小学校プール建設」「学校教育のICT支援」についての取り組みを強化しています。

### 〔継続事業への取り組み〕

「市立保育所等整備事業」「大竹駅周辺整備事業」に、引き続き取り組みます。

「市立保育所等整備事業」は、本庁舎敷地内に、なかはま保育所と立戸保育所の統合移転と子育て支援関連施設を整備します。令和4年4月からの開設に向け、引き続き建設工事を行い、令和3年度中に完成する予定です。

「大竹駅周辺整備事業」は、令和4年度末の橋上駅の開業と自由通路の完成、令和5年度末の東西駅前広場の完成に向け、引き続き事業に取り組みます。令和3年度は、引き続き自由通路や橋上駅の本体工事を行います。

その他、「晴海臨海公園整備事業」も継続して行い、大竹市の魅力を一層高めます。

### 〔防災への取り組み〕

災害に強いまちの実現に向け、「立戸地区の浸水対策事業」「一般河川(水路)浚渫事業」に、引き続き取り組みます。「立戸地区の浸水対策事業」は、令和3年度に完成予定です。

### 〔阿多田フェリーの新船建造事業への取り組み〕

離島である阿多田島と小方港を結ぶフェリーの新船建造に着手します。令和5年度から就航する予定です。

### 〔大竹小学校プール建設への取り組み〕

大竹小学校に、小学校の児童と大竹中学校の生徒が共同で利用できるプール建設に向けた設計を行います。

### 〔学校教育のICT支援への取り組み〕

令和2年度に、小・中学校の児童・生徒に1人1台の学習用タブレットを整備しました。令和3年度は、それらを活用した学習活動支援のためICT支援員を配置します。また、家庭におけるICT教育を段階的に推進するため、中学生を対象に家庭でのオンライン学習を実施します。通信環境が未整備な世帯への機器の貸し出しと、就学援助世帯等への通信費の一部助成をします。

これらの事業を盛り込んだ予算規模は、前年度比12.5%減の155億6,357万7千円です。「本庁舎耐震改修事業」、「大竹会館改築等事業」など、継続事業の完了が減少の要因です。これらの事業の完了に伴い、市債の発行額も前年度より大きく減少する見込みです。

## ◎◎◎ 歳入予算(一般会計) ◎◎◎

単位:千円, %

	3年度		2年度	対前年度比	
		構成比		増減額	増減率
1 市 税	5,010,296	32.2	5,238,135	▲ 227,839	▲ 4.3
2 地 方 譲 与 税	75,645	0.5	79,929	▲ 4,284	▲ 5.4
3 利 子 割 交 付 金	3,587	0.0	3,883	▲ 296	▲ 7.6
4 配 当 割 交 付 金	15,108	0.1	15,836	▲ 728	▲ 4.6
5 株式等譲渡所得割交付金	14,486	0.1	7,958	6,528	82.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	48,182	0.3	44,974	3,208	7.1
7 地方消費税交付金	624,482	4.0	649,707	▲ 25,225	▲ 3.9
8 自動車取得税交付金	1	0.0	1	0	0.0
9 環境性能割交付金	10,581	0.1	10,632	▲ 51	▲ 0.5
10 地方特例交付金	52,382	0.4	29,030	23,352	80.4
11 地 方 交 付 税	1,601,699	10.3	1,488,299	113,400	7.6
12 交通安全対策特別交付金	3,155	0.0	3,181	▲ 26	▲ 0.8
13 分担金及び負担金	145,115	0.9	154,970	▲ 9,855	▲ 6.4
14 使用料及び手数料	287,442	1.9	288,589	▲ 1,147	▲ 0.4
15 国 庫 支 出 金	2,362,243	15.2	2,446,989	▲ 84,746	▲ 3.5
16 県 支 出 金	889,637	5.7	759,140	130,497	17.2
17 財 産 収 入	51,819	0.3	181,774	▲ 129,955	▲ 71.5
18 寄 附 金	330,004	2.1	385,004	▲ 55,000	▲ 14.3
19 繰 入 金	1,281,626	8.2	1,473,403	▲ 191,777	▲ 13.0
20 繰 越 金	1	0.0	1	0	0.0
21 諸 収 入	859,686	5.5	718,617	141,069	19.6
22 市 債	1,896,400	12.2	3,813,600	▲ 1,917,200	▲ 50.3
合 計	15,563,577	100.0	17,793,652	▲ 2,230,075	▲ 12.5

◎◎◎ 歳出予算(一般会計)(目的別内訳) ◎◎◎

単位:千円, %

	3年度	構成比	2年度	対前年度比	
				増減額	増減率
1 議会費	186,362	1.2	188,430	▲ 2,068	▲ 1.1
2 総務費	2,163,128	13.9	2,265,852	▲ 102,724	▲ 4.5
3 民生費	5,246,262	33.7	5,371,399	▲ 125,137	▲ 2.3
4 衛生費	1,089,182	7.0	1,165,106	▲ 75,924	▲ 6.5
5 労働費	120,100	0.8	120,100	0	0.0
6 農林水産業費	270,963	1.7	577,655	▲ 306,692	▲ 53.1
7 商工費	264,516	1.7	224,391	40,125	17.9
8 土木費	2,949,728	19.0	2,896,713	53,015	1.8
9 消防費	501,650	3.2	560,304	▲ 58,654	▲ 10.5
10 教育費	972,636	6.3	2,627,162	▲ 1,654,526	▲ 63.0
11 災害復旧費	5	0.0	5	0	0.0
12 公債費	1,779,045	11.4	1,776,535	2,510	0.1
13 予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
合計	15,563,577	100.0	17,793,652	▲ 2,230,075	▲ 12.5

▼▲▼ 歳出の性質別分析(一般会計)▼▲▼

単位:千円, %

	3年度	構成比	2年度	対前年度比	
				増減額	増減率
人件費	2,706,930	17.4	2,685,436	21,494	0.8
扶助費	2,378,678	15.3	2,307,774	70,904	3.1
公債費	1,779,045	11.4	1,776,535	2,510	0.1
義務的経費計	6,864,653	44.1	6,769,745	94,908	1.4
普通建設事業費	3,134,529	20.1	5,589,120	▲ 2,454,591	▲ 43.9
うち補助事業	1,504,332	9.6	1,474,588	29,744	2.0
うち単独事業	1,630,197	10.5	4,114,532	▲ 2,484,335	▲ 60.4
災害復旧事業費	5	0.0	5	0	0.0
投資的経費計	3,134,534	20.1	5,589,125	▲ 2,454,591	▲ 43.9
物件費	1,969,721	12.7	1,856,032	113,689	6.1
維持補修費	135,412	0.9	147,255	▲ 11,843	▲ 8.0
補助費等	979,408	6.3	932,785	46,623	5.0
繰出金	1,462,748	9.4	1,517,544	▲ 54,796	▲ 3.6
出資金・貸付金	345,881	2.2	349,542	▲ 3,661	▲ 1.0
積立金	651,220	4.2	611,624	39,596	6.5
予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
その他の経費計	5,564,390	35.8	5,434,782	129,608	2.4
合計	15,563,577	100.0	17,793,652	▲ 2,230,075	▲ 12.5

# 1 歳入の特徴

【市 税】 対前年度 227.8百万円減(▲4.3%)

単位:百万円, %

◎ 市税全体では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を含め、前年度比4.3%(227.8百万円)減となる見込みです。

	3年度	2年度	増減率
市民税(個人)	1,270.9	1,346.9	▲ 5.6
(法人)	243.5	276.7	▲ 12.0
固定資産税	3,093.5	3,207.1	▲ 3.5
軽自動車税	69.1	71.3	▲ 3.1
市たばこ税	188.4	190.0	▲ 0.8
都市計画税	144.9	146.1	▲ 0.8
市税合計	5,010.3	5,238.1	▲ 4.3

※資料編(P10)に市税収入の推移のグラフあり

◎ 固定資産税は、土地については県有地の売却による増加を見込みましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う、特例措置や設備投資の減少により家屋と償却資産は減少するため、前年度比3.5%(113.6百万円)の減となる見込みです。



【地方交付税・臨時財政対策債】 対前年度 199.6百万円増(+12.6%)

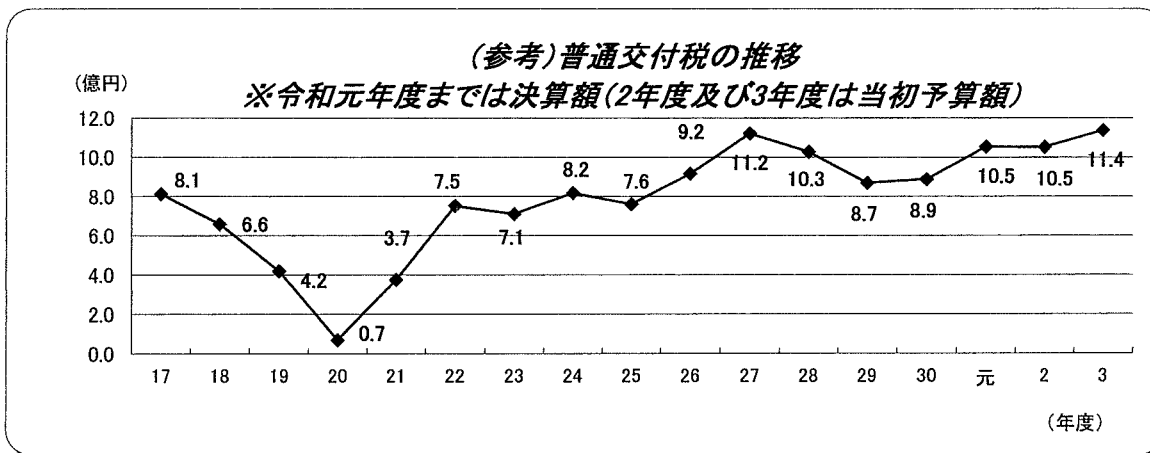
単位:百万円, %

◎ 国の示した令和3年度の地方財政計画では、地方交付税は前年度比5.1%の増となり、臨時財政対策債は、74.5%の増となっています。

	3年度	2年度	増減率
地方交付税	1,601.7	1,488.3	7.6
うち普通交付税	1,137.0	1,051.9	8.1
臨時財政対策債	642.2	527.7	21.7
合計	1,779.2	1,579.6	12.6

※合計は、普通交付税と臨時財政対策債の合計

◎ 大竹市の普通交付税と臨時財政対策債の合計は、市税の減収などの影響により前年度に比べ12.6%(199.6百万円)の増を見込んでいます。



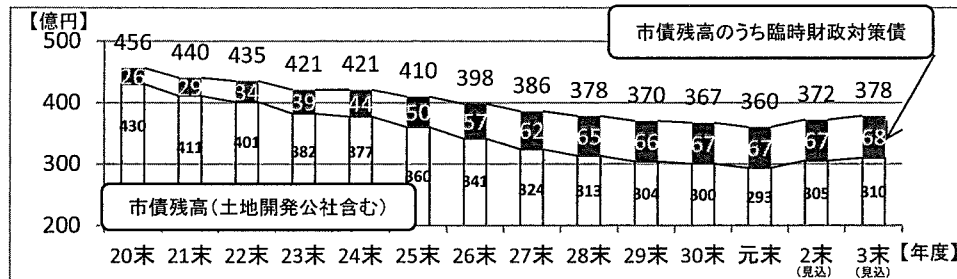
【市 債】 対前年度 1,917.2百万円減(▲50.3%)

◎「本庁舎耐震改修事業」,「大竹会館改築等事業」など,継続事業の完了により,市債発行額は大きく減少し,前年度比50.3%の減となりました。  
 なお,土地開発公社を含めた市債残高の合計は,令和3年度末で378億円で前年度比1.3%の増となる見込みです。

単位:百万円, %

	3年度	2年度	増減率
通常債(建設債)	1,254.2	3,285.9	▲ 61.8
臨時財政対策債	642.2	527.7	21.7
市債合計	1,896.4	3,813.6	▲ 50.3

※資料編(P11)に市債発行額(普通会計),市債残高(普通会計)の推移のグラフあり



【基金繰入金】 対前年度 192.7百万円減(▲13.1%)

◎「市の純粋な貯蓄」というべき財政調整基金と減債基金の残高合計は,令和元年度末で約1,449.2百万円です。  
 なお,令和3年度当初予算では,昨年度より抑制して,合計で330.3百万円の取り崩しを見込んでいます。

単位:百万円, %

	3年度	2年度	増減率
財政調整基金	200.0	200.0	0.0
減債基金	130.3	153.4	▲ 15.1
その他の基金	942.4	1,112.0	▲ 15.3
基金繰入金合計	1,272.7	1,465.4	▲ 13.1

※資料編(P10)に財政調整基金残高の推移のグラフあり

◎ 市債発行の抑制のため,大規模事業に備えてこれまで積み立ててきた地方創生事業基金とにこにこども基金を繰り入れます。

◎ 再編交付金をもとに積み立てた各種基金(阿多田診療所基金,にこにこども基金,健やか安心基金,高度情報化基金,教育環境充実基金,公共交通活性化基金,あたたかあたた基金)からの繰入金は,422.9百万円(前年度比11.3%増)を予定しています。将来に備え,令和3年度も積み立てを予定しています。(令和元年度末基金残高合計1,311.5百万円)

【その他の主な歳入の増減】

国庫支出金 〔増の要因〕・社会資本整備総合交付金の増(+189百万円)  
 ・離島航路構造改革国庫補助金の皆増(+27百万円)  
 ・自立支援給付費国庫負担金の増(+22百万円)

84.7百万円減 (▲3.5%)

〔減の要因〕・再編交付金の減(▲131百万円)  
 ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金の皆減(▲126百万円)  
 ・地域居住機能再生推進事業国庫補助金の皆減(▲65百万円)  
 ・水産物供給基盤機能保全事業補助金の減(▲44百万円)

県支出金 〔増の要因〕・未来の地域づくり応援交付金の皆増(+66百万円)  
 ・衆議院議員選挙費県負担金の皆増(+19百万円)  
 ・広島県知事選挙費県負担金の皆増(+18百万円)  
 ・参議院議員選挙費県負担金の皆増(+17百万円)

130.5百万円増 (+17.2%)

〔減の要因〕・基幹統計調査委託金の減(▲13百万円)  
 ・幼児保育・保育無償化事務費県補助金の減(▲5百万円)

諸収入 〔増の要因〕・旧穂原小学校等関係補償費の皆増(+200百万円)

141.1百万円増 (+19.6%)

〔減の要因〕・白石墓地移転補償費の減(▲93百万円)

市債 〔増の要因〕・大竹駅周辺整備事業債の増(+127百万円)  
 ・臨時財政対策債の増(+115百万円)  
 ・船舶建造事業債の皆増(+66百万円)

1,917.2百万円減 (▲50.3%)

〔減の要因〕・大竹会館改築事業債の皆減(▲1,544百万円)  
 ・本庁舎耐震改修事業債の皆減(▲410百万円)  
 ・総合福祉センター設備改修事業債の皆減(▲125百万円)  
 ・林地崩壊対策事業債の皆減(▲106百万円)



## 2 歳出の特徴

### 《性質別分析》

【義務的経費】 対前年度 94.9百万円増(+1.4%)

単位:百万円, %

- ◎ 扶助費は、障害者等1人あたりの福祉サービス利用給付費の増などにより、前年度と比べ3.1%(70.9百万円)の増となっています。

	3年度	2年度	増減率
人件費	2,706.9	2,685.4	0.8
扶助費	2,378.7	2,307.8	3.1
公債費	1,779.0	1,776.5	0.1
義務的経費計	6,864.6	6,769.7	1.4

※資料編(P10, 11)に人件費及び公債費の推移のグラフあり

【投資的経費】 対前年度 2,454.6百万円減(▲43.9%)

単位:百万円, %

- ◎ 投資的経費は、「本庁舎耐震改修事業」、「大竹会館改築等事業」など、継続事業の完了により大きく減少し、前年度比43.9%(2,454.6百万円)の減となっています。

	3年度	2年度	増減率
普通建設事業費	3,134.5	5,589.1	▲ 43.9
うち補助事業	1,504.3	1,474.6	2.0
うち単独事業	1,630.2	4,114.5	▲ 60.4
災害復旧事業費	0.0	0.0	0.0

※資料編(P11)に投資的経費の推移のグラフあり

- ◎ 投資的事業の財源については、後年度の負担が過度に増加しないよう、これまで積み立ててきた地方創生事業基金とにこにこども基金(2つの基金で518.3百万円)を繰り入れ、市債の発行を抑制しています。



## 《目的別内訳》

議会費 [減の要因] ・議場中継用システムコントローラー等購入費の皆減(▲2百万円)  
2.1百万円減 (▲1.1%)

総務費 [増の要因] ・地方創生事業基金積立金の増(+246百万円)  
・船舶建造事業費の増(+104百万円)  
102.7百万円減 (▲4.5%) [減の要因] ・本庁舎耐震改修事業費の皆減(▲409百万円)

民生費 [増の要因] ・障害者等自立支援給付事業費の増(+44百万円)  
125.1百万円減 (▲2.3%) [減の要因] ・総合福祉センター運営事業費の減(▲107百万円)  
・私立保育所等委託事業費の減(▲51百万円)  
・介護保険特別会計繰出金の減(▲37百万円)

衛生費 [増の要因] ・ごみ処理場維持管理事業費の増(+15百万円)  
・予防接種推進事業費の増(+13百万円)  
・し尿処理場整備事業費の増(+12百万円)  
75.9百万円減 (▲6.5%) [減の要因] ・白石墓地移転事業費の減(▲90百万円)

## 労働費

増減なし

農林水産業費 [減の要因] ・林地崩壊対策事業費の皆減(▲100百万円)  
・漁港施設維持管理事業費の減(▲55百万円)  
306.7百万円減 (▲53.1%)

商工費 [増の要因] ・産業振興奨励金の皆増(+41百万円)  
40.1百万円増 (+17.9%)

土木費 [増の要因] ・大竹駅周辺整備事業費の増(+170百万円)  
・小方ヶ丘緑地安全対策事業費の皆増(+41百万円)  
・市営住宅長寿命化事業費の増(+40百万円)  
53.0百万円増 (+1.8%)

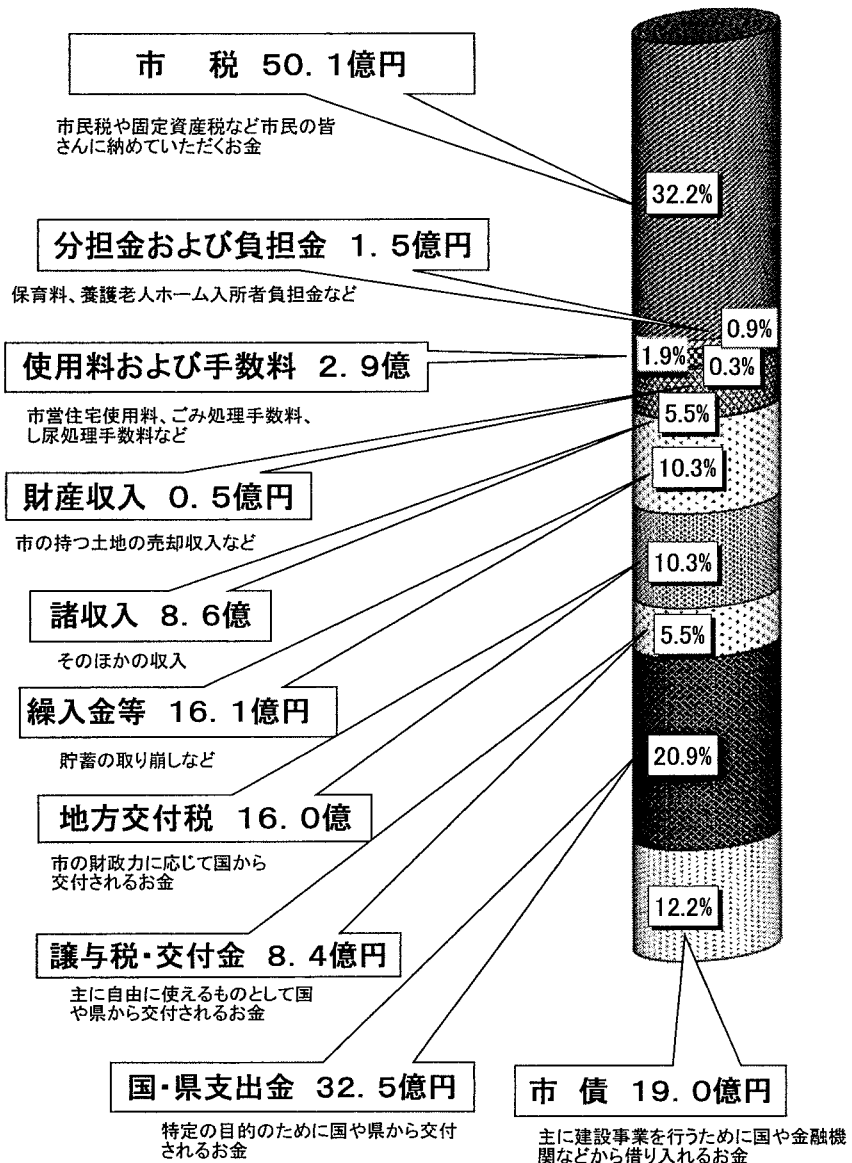
[減の要因] ・道路・橋りょう新設, 改良事業費の減(▲154百万円)  
・市営御園団地整備事業費の減(▲59百万円)

消防費 [減の要因] ・高規格救急自動車整備費の皆減(▲46百万円)  
・防災情報等啓発促進事業費の減(▲24百万円)  
58.7百万円減 (▲10.5%)

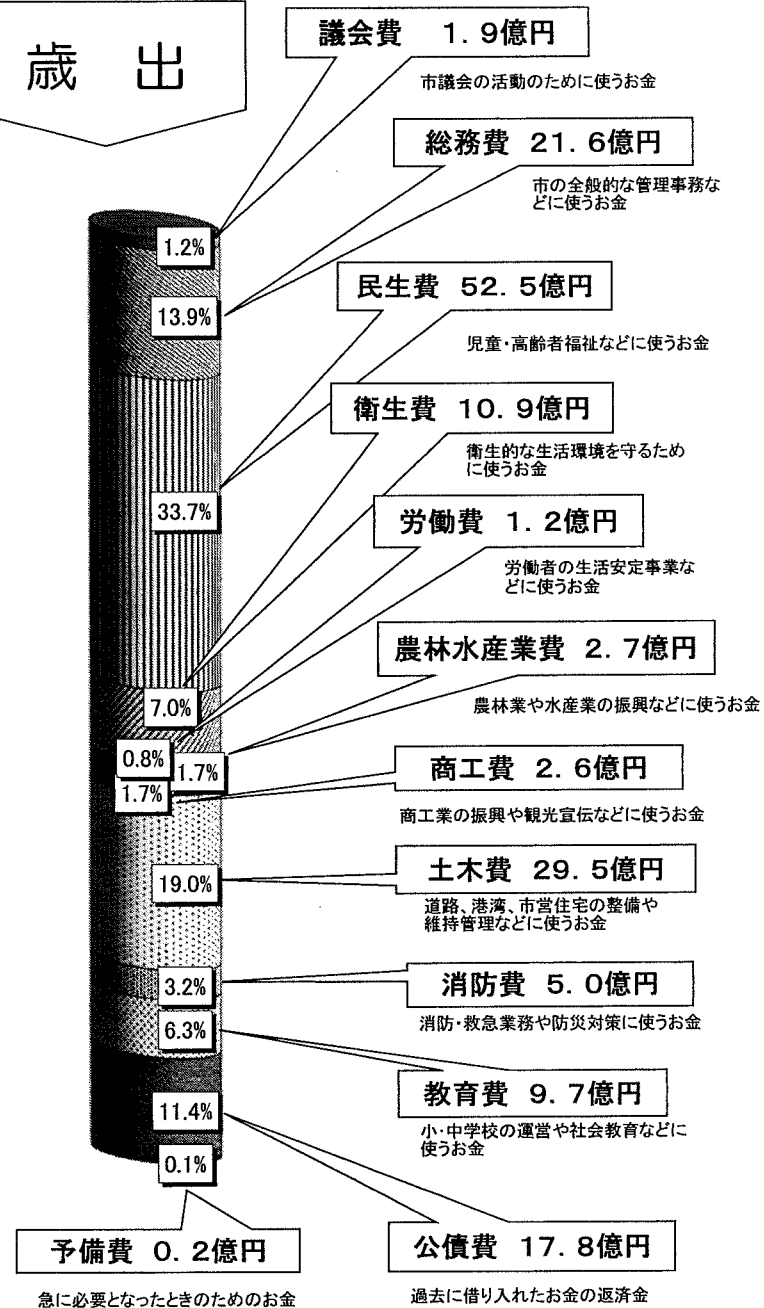
教育費 [減の要因] ・大竹会館改築等事業費の皆減(▲1,633百万円)  
・教育環境充実基金積立金の減(▲59百万円)  
1654.5百万円減 (▲63.0%)

# 一般会計当初予算 総額 155.6億円

## 歳入

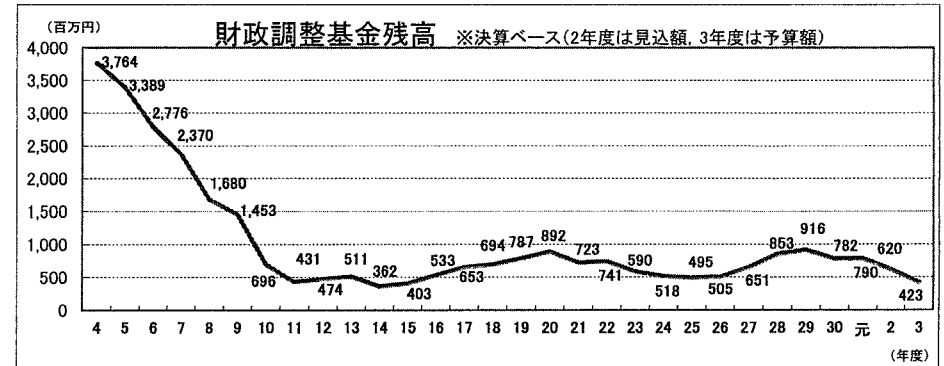
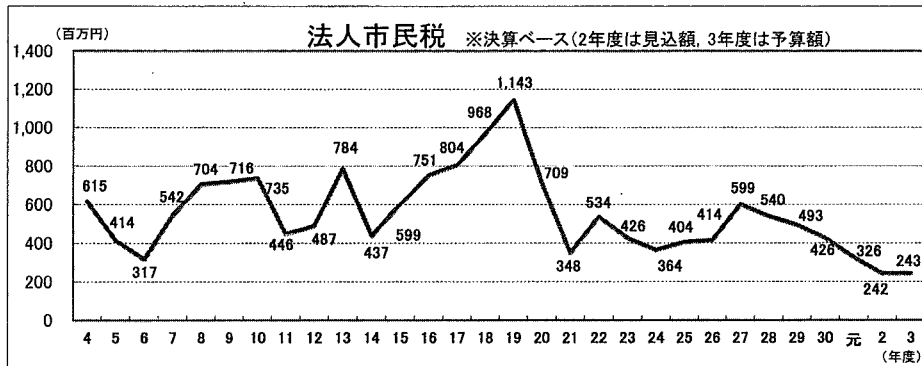
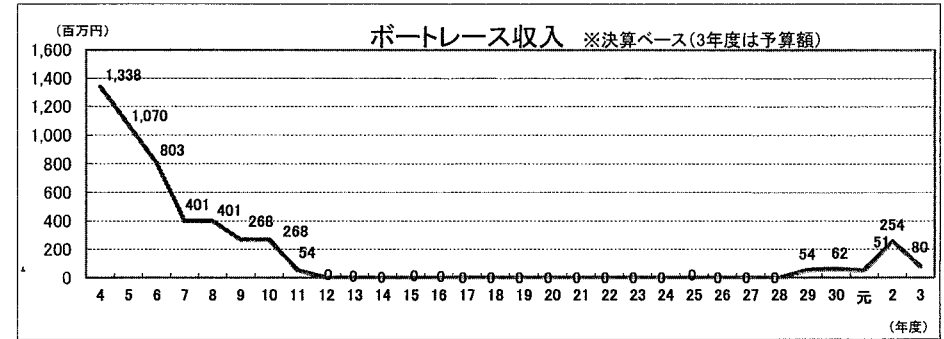
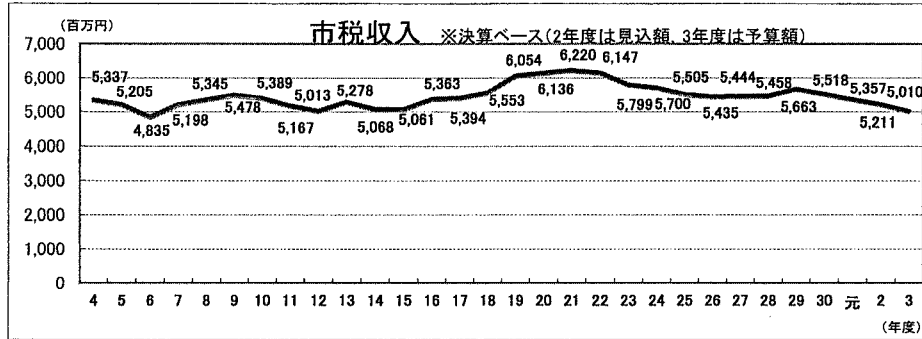


## 歳出

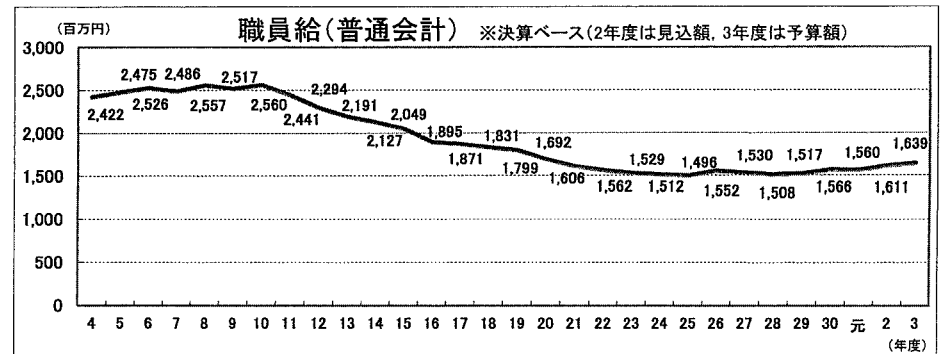
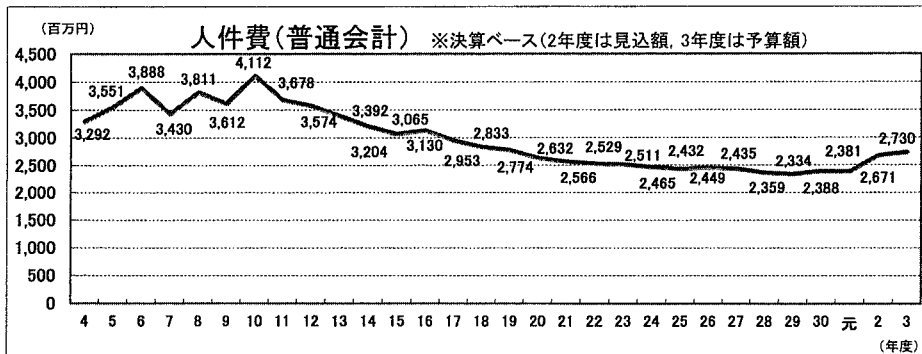


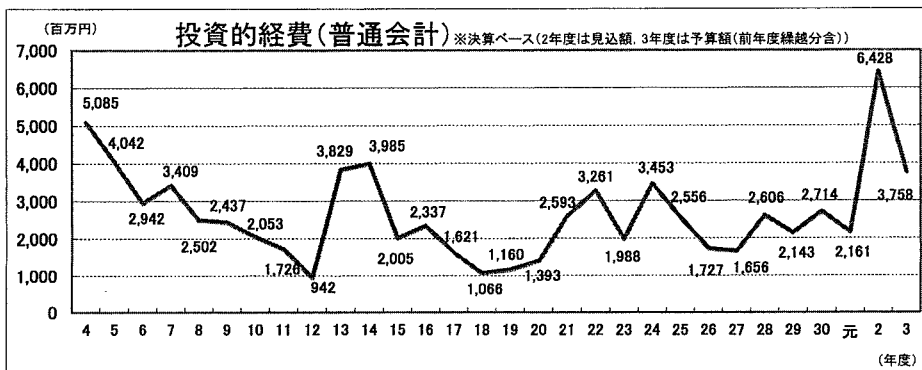
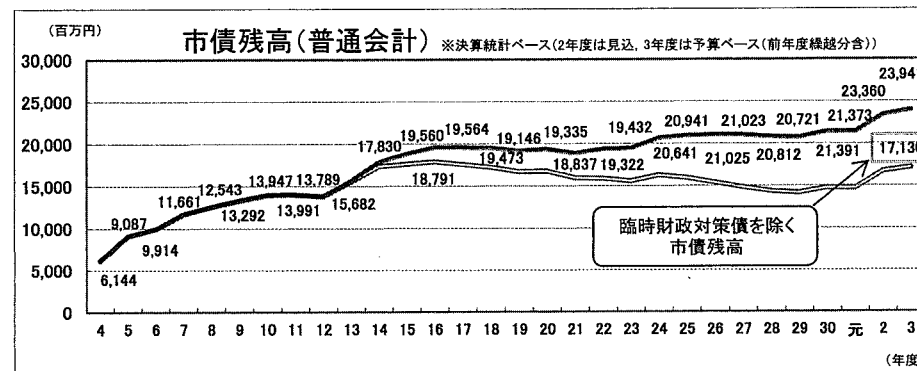
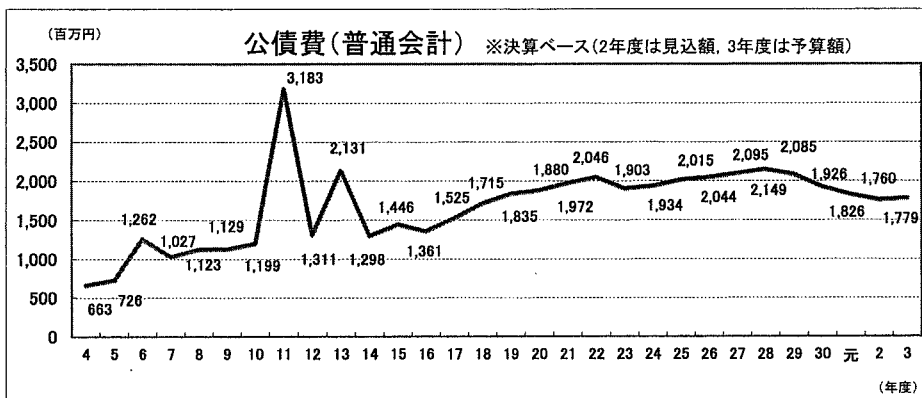
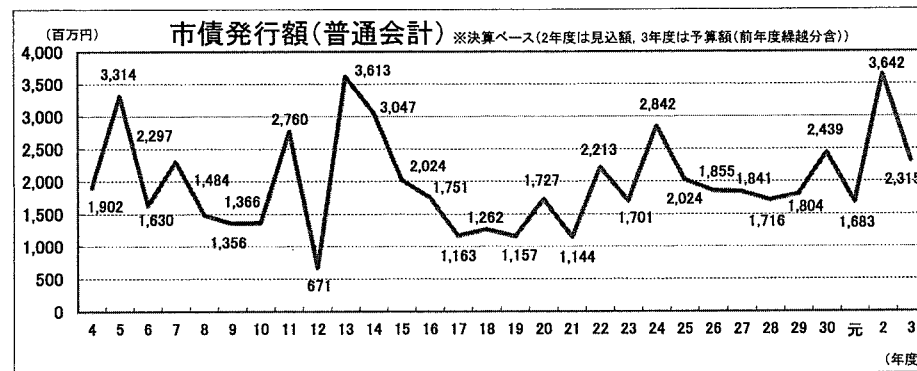
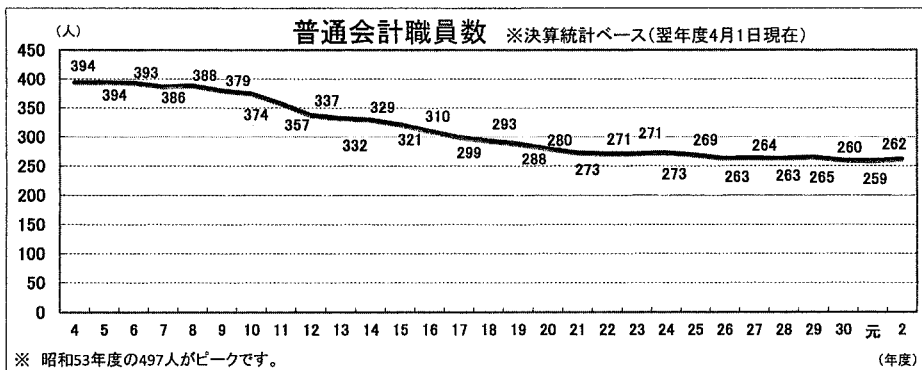
当初予算の概要 資料編(平成4年度～)

1. 歳入に関する事項

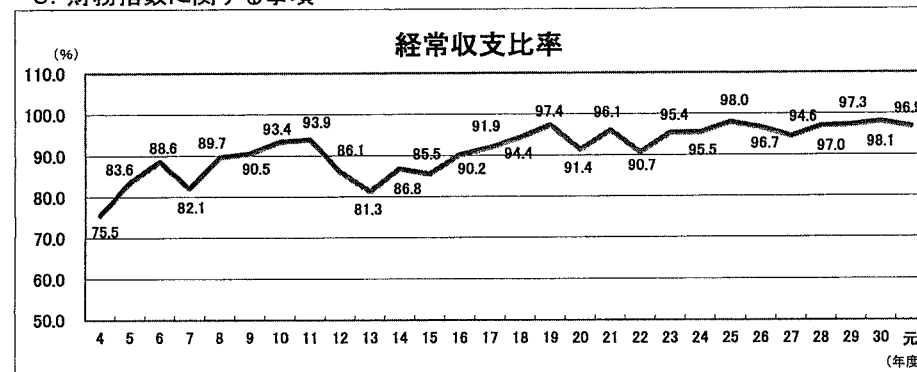


2. 歳出に関する事項





### 3. 財務指数に関する事項



# 当初予算主要事業

事業名に 新規 …… 令和3年度に新規に行う事業です。  
 事業名に 拡充 …… 制度などが前年度と比較し拡充される事業です。

## 1 教育・文化 147,995 千円

### 1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

新規	小・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業)	16,200 千円
新規	小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業)	10,000 千円
新規	中学校教育振興・支援事業 (オンライン学習通信費援助事業)	1,428 千円
	奨学金貸付事業	10,462 千円
	こども相談室運営事業	9,528 千円
	学習環境サポート・読書活動推進事業 (小学校費)	13,627 千円
	(中学校費)	4,751 千円
	中学校教育振興事業 (英語力向上事業)	675 千円
	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブ運営事業)	62,530 千円
	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業)	3,000 千円

### 2 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

新規	社会教育施設等維持管理事業 (公民館長寿命化事業)	14,994 千円
----	------------------------------	-----------

### 3 豊かな心身を育むスポーツの推進

	スポーツ振興事業 (オリンピック・パラリンピック交流事業)	300 千円
--	----------------------------------	--------

### 4 まちへの愛着を育む歴史・文化の保存・継承の推進

	文化財保護事業 (文化財等普及啓発事業)	500 千円
--	----------------------	--------

## 2 産業・雇用 225,703 千円

### 1 自然の恵みを活かした農林水産業の振興

	ひろしまの森づくり事業	6,869 千円
--	-------------	----------

### 2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興

新規	商工振興事業 (産業振興奨励事業)	41,341 千円
	中小企業経営安定支援事業	175,024 千円

### 3 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援

	消費生活相談事業	2,469 千円
--	----------	----------

## 3 生活・環境 2,090,200 千円

### 1 快適で魅力的な都市空間の創造

	立地適正化計画策定事業	6,671 千円
--	-------------	----------

### 2 きれいで利便性の高い道路環境の創造

	橋りょう長寿命化事業	35,000 千円
	道路・橋りょう維持事業	65,500 千円
	道路・橋りょう新設、改良事業	42,981 千円
	県道等整備事業	3,000 千円
	岩国大竹道路建設事業	- 千円

### 3 生活を支える公共交通の充実

新規	地域公共交通整備事業 (阿多田フェリー新船建造事業)	98,552 千円
新規	大竹駅周辺整備事業 (大竹駅自由通路壁面装飾タイル作成事業)	3,000 千円
拡充	大竹駅周辺整備事業	1,073,561 千円
	地域公共交通整備事業	94,643 千円

### 4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備

新規	プレジャーボート実態調査業務	1,876 千円
	漁港施設維持管理事業	24,300 千円
	港湾施設の修築・改良事業	16,334 千円

<b>5 住みよさと安心を生む住宅政策</b>		
空家対策事業	2,228	千円
住宅改修等補助事業	9,984	千円
<b>6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備</b>		
晴海臨海公園整備事業	63,000	千円
<b>7 暮らしを支える上下水道の整備</b>		
【公共下水道事業会計】		
拡充 大竹下水処理場共同処理整備事業 (し尿等受入施設整備)	64,480	千円
拡充 大竹下水処理場改築更新事業	150,000	千円
拡充 小島雨水排水ポンプ場等改築更新事業	293,008	千円
<b>8 環境にやさしい持続可能なまちづくり</b>		
拡充 環境学習事業	5,630	千円
地域不法投棄対策事業	9,791	千円
環境衛生推進事業	5,556	千円
ごみ減量化・資源化促進事業	8,840	千円
<b>9 生活環境に配慮した墓地・斎場の管理</b>		
斎場管理事業 (施設改修)	12,265	千円
<b>4 安全・安心</b> 245,649 千円		
<b>1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり</b>		
新規 都市計画一般事務 (大規模盛土造成地安全対策事業)	4,200	千円
拡充 自主防災組織育成指導事業	1,473	千円
浸水対策事業 (立戸地区)	18,500	千円
一般河川 (水路) 浚渫事業	158,000	千円
急傾斜地崩壊対策事業 (市)	37,560	千円
急傾斜地崩壊対策事業 (県)	625	千円
<b>2 事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり</b>		
新規 防犯対策事業 (防犯カメラ設置)	3,800	千円

<b>3 市民の命を守る消防体制の充実</b>		
新規 消防団資機材整備事業 (防火服一式・積載車・小型動力ポンプ整備事業)	10,293	千円
拡充 消防一般事務 (消防救急デジタル無線維持管理事業)	11,198	千円
<b>5 健康・福祉</b> 2,086,980 千円		
<b>1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援</b>		
高齢者離島対策事業 (介護サービス利用支援事業)	701	千円
<b>2 子どもと子育てを支える体制の充実</b>		
新規 未就学児等離島対策事業	275	千円
子育て短期支援事業	192	千円
こども医療費助成事業	59,492	千円
公立保育所等整備事業	748,181	千円
私立保育所等委託事業 (私立保育所等施設整備事業)	211,931	千円
病児保育運営委託事業	12,095	千円
児童福祉相談事業	9,030	千円
子育て支援センター等運営管理事業	24,476	千円
利用者支援事業 (ネウボラ)	14,008	千円
<b>3 障害のある人が自分らしく生きるための支援</b>		
新規 精神障害者医療費助成事業	2,003	千円
障害者等自立支援給付事業	546,738	千円
<b>4 見守り支え合う地域福祉の推進</b>		
生活困窮者自立支援事業	20,422	千円
地域見守り活動事業	502	千円
地域福祉担い手育成事業	12,000	千円
地域支援事業	186,292	千円
<b>5 元気・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実</b>		
医療体制支援事業 (救急相談センター運営事業)	817	千円
産科医療施設人材確保支援事業	146	千円
予防接種推進事業	96,937	千円
妊産婦歯科健康診査事業	963	千円
妊婦乳幼児健康診査事業	20,381	千円
不妊治療費助成事業	4,500	千円
健康づくり推進事業	114,898	千円

## 6 自治・行政運営 40,450 千円

### 1 市民と行政の協働による地域づくり

協働のまちづくり推進事業	1,400 千円
地域活動促進事業	19,768 千円

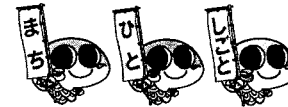
### 2 将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営

新規 市税賦課徴収事業 (ペイジー口座振替受付サービス導入事業)	2,814 千円
新規 戸籍住民基本台帳事務 (証明書コンビニ交付事業)	700 千円
新規 建設等一般事務 (電子入札システム導入事業)	2,859 千円

### 3 公営企業などの健全な経営

#### 【水道・公共下水道事業会計】

新規 料金・使用料改定検討事業	2,344 千円
土地開発公社経営健全化対策事業	10,565 千円



人口減少の克服と地方創生を実現するため、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定している、3つの基本目標を達成するための事業には、左の、おたけPRキャラクター「コイちゃん」が付いています。

- まち 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する
- ひと 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- しごと 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

# 1 教育・文化

## 1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

### 新規 小・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業)

16,200 千円 予算書 169,172 ページ 《 担当 総務学事課 》

老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。  
令和3年度は、両校の現プールの解体設計及び新たに建設するプールの設計業務を行います。  
(小学校：15,100千円、中学校：1,100千円)

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

### 新規 小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業)



10,000 千円 予算書 169,172 ページ 《 担当 総務学事課 》

令和2年度に整備した1人1台端末を授業等で活用し、児童生徒の情報活用能力を高め、多様な問題を解決できる能力の育成を目指します。そのために必要となる教員のICT機器の活用や機器の不具合の対応、情報セキュリティ対策等を強化するため、専門的な知識をもつICT支援員を配置します。

### 新規 中学校教育振興・支援事業 (オンライン学習通信費援助事業)

1,428 千円 予算書 172 ~ 173 ページ 《 担当 総務学事課 》

家庭におけるICT教育を段階的に推進するため、令和3年度は中学生を対象に、持ち帰った学習用端末によるオンライン学習を開始します。そのため通信環境未整備の世帯にモバイルWi-Fiルータの貸出を行う（契約及び通信料は保護者負担）とともに、就学援助世帯等については通信費の一部を援助します。

### 奨学金貸付事業



10,462 千円 予算書 166 ページ 《 担当 総務学事課 》

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。  
平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

### こども相談室運営事業



9,528 千円 予算書 166 ~ 167 ページ 《 担当 総務学事課 》

家庭等で問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者等に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い社会的自立への基礎を培います。

※ 32 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

### 学習環境サポート・読書活動推進事業



13,627 千円 予算書 170 ページ

4,751 千円 予算書 173 ページ 《 担当 総務学事課 》

通常の学級に在籍する発達障害などのある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行います。  
学校図書館に読書や学習活動を支援する「読書活動推進員」を配置することで、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

### 中学校教育振興事業(英語力向上事業)



675 千円 予算書 172 ページ 《 担当 総務学事課 》

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、市内の中学校に通う中学3年生を対象に全額助成（年1回）します。中学卒業までに取得する目標の級を定めることで、中学生全体の英語力の向上を目指します。

### 学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブ運営事業)



62,530 千円 予算書 178 ページ 《 担当 生涯学習課 》

放課後や長期休暇中などに、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して、「放課後児童クラブ」において適切な「遊びの場」や「生活の場」を提供することで、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援します。  
令和3年度からは、業務の一部を民間委託による運営に移行することで、これまで以上に放課後児童クラブの効率的かつ効果的な運営を図ります。

※ 32 ページの「各施設のご案内」をご覧ください



## 学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業)



3,000 千円 予算書 178 ページ 《 担当 生涯学習課 》

放課後、週末及び長期休暇中における子どもたちの活動拠点(居場所)を確保するため、(仮称)地域学校協働本部を立ち上げ、地域や各種団体等と連携し、学校や公民館等を活用して様々な体験活動や学習機会の場を児童に提供します。

### 2 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

新規

## 社会教育施設等維持管理事業(公民館長寿命化事業)

14,994 千円 予算書 174 ~ 175 ページ 《 担当 生涯学習課 》

建設後40年以上経過する玖波公民館及び栄公民館について、平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画の基本方針に基づく施設の長寿命化を図るため、予防保全的な観点から外壁調査及び耐震診断を実施します。

### 3 豊かな心身を育むスポーツの推進

## スポーツ振興事業 (オリンピック・パラリンピック交流事業)



300 千円 予算書 188 ~ 189 ページ 《 担当 生涯学習課 》

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けて、2020年夏の開催から1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた機運を醸成するため、県で事前合宿を行うメキシコ選手等との交流や、東京2020パラリンピック聖火リレー広島聖火フェスティバルを開催し、市民のスポーツへの関心を高めます。

### 4 まちへの愛着を育む歴史・文化の保存・継承の推進

## 文化財保護事業(文化財等普及啓発事業)



500 千円 予算書 177 ページ 《 担当 生涯学習課 》

市内の史跡等について、より多くの方に関心を持ってもらうとともに本市の歴史を学ぶ機会を提供するため、令和3年度は、亀居城跡内「なしの丸」に設置した岩国大竹道路建設に伴って出土した遺跡の一部(腰掛石)の説明看板設置及び「長州戦争と大竹市」のリーフレット作成に大竹市歴史研究会と連携して取り組みます。

# 2 産業・雇用

### 1 自然の恵みを活かした農林水産業の振興

## ひろしまの森づくり事業



6,869 千円 予算書 125 ~ 126 ページ 《 担当 産業振興課 》

県土の保全や水源のかん養等、森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を活用して、人工林や里山林の整備、森林の間伐、鳥獣被害を削減・防止するための緩衝地帯整備などのほか、森林機能や木材利用に対する市民の意識の醸成を図ります。

2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興

新規 商工振興事業 (産業振興奨励事業)



41,341 千円 予算書 131 ページ 《 担当 産業振興課 》

新たな投資を行った市内の商工業者に奨励金を交付することにより、商工業者の投資意欲を高めるなど、市内産業の振興を図ります。

中小企業経営安定支援事業



175,024 千円 予算書 131 ページ 《 担当 産業振興課 》

大竹商工会議所や金融機関と連携して、市内の産業を支える中小企業に対する支援事業を実施することで、市内産業の振興を図ります。

3 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援

消費生活相談事業

2,469 千円 予算書 129 ~ 130 ページ 《 担当 産業振興課 》

多様化する消費生活トラブルの未然防止及び消費者被害の救済を図ります。

※ 33 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

# 3 生活・環境

1 快適で魅力的な都市空間の創造

立地適正化計画策定事業



6,671 千円 予算書 146 ~ 147 ページ 《 担当 都市計画課 》

居住や福祉・医療・商業・公共交通等の様々な都市機能の誘導により、生活サービス機能を計画的に集積していくための立地適正化計画を令和2年度から令和4年度までの3年間で策定します。令和3年度は基本方針、居住誘導区域や都市機能誘導区域の設定や施策等の検討を行います。

2 きれいで利便性の高い道路環境の創造

橋りょう長寿命化事業

35,000 千円 予算書 138 ページ 《 担当 土木課 》

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い道路橋りょうの予防保全のため、計画的な補修を行います。また、健全性の診断のため、5年に1回定期点検を実施しています。

定期点検	10,000 千円	城山陸橋の定期点検を行います。(JR委託)
橋りょう補修	25,000 千円	玖波30号線1号橋の断面のひび割れ等を修復します。 L=27.6m

## 道路・橋りょう維持事業

65,500 千円 予算書 139 ページ 《 担当 土木課 》

道路利用者の安全を確保するため、日常的な点検や定期点検で道路や橋りょうの損傷・劣化を発見し必要な対策を行います。		
飛石黒川線舗装補修	9,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 切削ホーロー 3 cm L=200m, A=800㎡
港町4号線舗装補修	42,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 舗装打ち換え 表層 5 cm・基層 5 cm L=240m, A=2,500㎡
玖波2号線舗装補修	9,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 ホーロー 3 cm L=190m, A=800㎡
黒川5号線舗装補修	5,500 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 ホーロー 3 cm L=120m, A=850㎡

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 道路・橋りょう新設, 改良事業

42,981 千円 予算書 140 ~ 141 ページ 《 担当 土木課 》

交通の円滑化と安全性の向上のため、市道の改良などを行います。		
玖波29号線道路予備設計	5,000 千円	大野・大竹間幹線道路事業で接続される市道玖波29号線の道路拡張予備設計業務を行います。 道路設計 L=1.2km
小方4号線道路改良	34,981 千円	小方ポンプ場から国道2号までの延長250mの内、約120m区間の道路改良工事を行います。 道路改良 L=120m・W=14m
岩国大竹道路建設に伴う市道改良	3,000 千円	国土交通省が実施している岩国大竹道路建設事業に伴い、安全対策等に必要な改良を行います。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 県道等整備事業

3,000 千円 予算書 141 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する大竹湯来線、栗谷河津原線及び国道186号の道路改良事業の費用の一部を負担します。

## 岩国大竹道路建設事業

- 千円 担当 監理課

引き続き、岩国大竹道路建設に国と協力して取り組みます。  
(※国の事業のため、事業費は計上していません)

### 3 生活を支える公共交通の充実

## 新規 地域公共交通整備事業

(阿多田フェリー新船建造事業)



98,552 千円 予算書 54 ~ 55 ページ 《 担当 自治振興課 》

阿多田島と小方港を結ぶ離島航路の確保・維持のため、就航から16年以上経過したフェリーを、市が運航事業者に代わって代替建造します。令和5年度から就航する予定です。

## 新規 大竹駅周辺整備事業

(大竹駅自由通路壁面装飾タイル作成事業)



3,000 千円 予算書 147 ページ 《 担当 総務課 》

大竹駅自由通路の壁面をおおたけ和紙を使ったタイルで装飾します。このタイルには、絵柄とともに大竹駅再生プロジェクトクラウドファンディングに寄附をいただいた方でふるさと納税返礼品を希望されなかった方の名前を入れる予定です。大竹駅再生プロジェクトクラウドファンディングは令和3年度末まで受け付けます。令和4年度中の大竹駅舎の竣工に合わせて完成を予定しています。

## 拡充 大竹駅周辺整備事業



1,073,561 千円 予算書 147 ページ 《 担当 都市計画課 》

自由通路や駅舎等の建設，関連する支障物件の移設などの鉄道施設に関する工事について，平成30年12月に鉄道事業者と工事の施行に関する協定を締結しました。

平成30年度から令和5年度までで総額39億2千万円の継続費を設定し，令和3年度は引き続き自由通路や橋上駅の本体工事を行います。令和4年度末に橋上駅の開業と自由通路の供用開始を行い，令和5年度末に東西駅前広場が完成する予定です。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 地域公共交通整備事業



94,643 千円 予算書 54 ~ 55 ページ 《 担当 自治振興課 》

市民の移動環境を確保・維持するため，こいこいバス，大竹・栗谷線バス，坂上線バス，乗合タクシーの運行経費を負担し，谷和・広原地区タクシーや離島航路の補助を行います。

### 4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備

## 新規 プレジャーボート実態調査業務

1,876 千円 予算書 128 ページ 《 担当 土木課 》

漁港に停泊しているプレジャーボートの適正な管理を行うため，実態調査・禁止区域及び小型船舶用泊地の測量図面・指定調書を作成します。

## 漁港施設維持管理事業



24,300 千円 予算書 129 ページ 《 担当 土木課 》

漁港施設の長寿命化のため，機能保全計画に基づき，計画的に各施設を補修します。

阿多田猪子東浮棧橋補修工事	21,000 千円	猪子東浮棧橋のチェーン等補修工事を行います。
玖波漁港10号物揚場補修工事	3,300 千円	漁港機能保全計画において対策が必要と診断された，10号物揚場のコンクリート擁壁の補修工事を行います。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 港湾施設の修築・改良事業



16,334 千円 予算書 144 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する大竹港における御幸地区の護岸工事のほか，東栄地区の荷さばき地舗装改良工事などの費用の一部を負担します。

## 空家対策事業



2,228 千円 予算書 151 ページ 《 担当 都市計画課 》

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき，空き家の削減や適正管理，さらに空き家の活用について，総合的な対策を推進します。

## 5 住みよさと安心を生む住宅政策

### 住宅改修等補助事業



9,984 千円 予算書 151 ~ 152 ページ 《 担当 都市計画課 》

住宅・空き家等の改修・除却等に要する費用の一部を補助します。

- 木造住宅耐震診断補助事業  
補助率：耐震診断費用の2/3（上限3万円）  
要件：市に登録された診断資格者による耐震診断
- 木造住宅耐震改修等補助事業  
補助率：補助対象費用の1/2  
・段階的耐震改修（上限30万円）  
・耐震改修（上限40万円）  
・耐震シェルター等設置（上限12万5千円）  
要件：市に登録された診断資格者による耐震診断，設計した工事に限る
- 建築物土砂災害対策改修補助事業  
補助率：対策改修費用の23%（上限75万9千円）  
要件：土砂災害特別警戒区域内（レッドゾーン）の建築物の改修
- ブロック塀等除却事業  
補助率：除却に係る補助対象費用の2/3（上限15万円）  
要件：大竹市ブロック塀等除却補助事業実施要綱に定める補助対象ブロックの除去
- 住宅リフォーム事業  
補助率：補助対象費用の1/10  
・住宅リフォーム（上限20万円）  
・耐震リフォーム（上限30万円）  
・空き家リフォーム（上限30万円）  
要件：耐震リフォームは木造住宅耐震改修補助事業の活用  
空き家リフォームは市空き家バンク登録物件
- 特定空家等除却補助事業  
補助率：除却費用の1/3（上限30万円）  
要件：特定空家等に認定された建築物に限る

## 6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備

### 晴海臨海公園整備事業



63,000 千円 予算書 149 ページ 《 担当 都市計画課 》

令和元年度まで，第2期工事として，子どもから大人まで幅広い世代が集える憩いの場所として大型遊具「ロボボファクトリー」や遊具広場の整備，シーサイドゾーンの南北を結ぶ幹線園路や展望施設，デイキャンプ施設が楽しめる海辺の広場を整備しました。

令和3年度は第3期工事として，多目的グラウンド（西側ゾーン）の雨水処理をするための雨水排水管整備や，園路を整備します。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 7 暮らしを支える上下水道の整備

【公共下水道事業会計】

### 拡充 大竹下水処理場共同処理整備事業（し尿等受入施設整備）

64,480 千円 公共下水道事業会計予算書 141 ページ 《 担当 上下水道局 》

し尿・浄化槽汚泥を下水道施設に接続するための受入・前処理施設を整備し，隣接する下水処理場に投入・処理するもので，この受入・前処理施設を下水道施設として整備するものです。  
令和3年度は，し尿・浄化槽汚泥受入れ施設の設計を行います。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

【公共下水道事業会計】

### 拡充 大竹下水処理場改築更新事業

150,000 千円 公共下水道事業会計予算書 139 ページ 《 担当 上下水道局 》

下水処理場の老朽化に伴い、電気・機械設備の改築更新を行います。  
令和3年度は、下水処理場1・2系のエアタンク・ブロアー改築更新工事（1期）を行います。  
（令和3・4年度2ヶ年工事 事業費計：300,000千円）

【公共下水道事業会計】

### 拡充 小島雨水排水ポンプ場等改築更新事業

293,008 千円 公共下水道事業会計予算書 139 ページ 《 担当 上下水道局 》

小島雨水排水ポンプ場・小方ポンプ場（雨水）の老朽化に伴い、電気・機械設備の改築更新を行います。  
令和3年度は、小島雨水排水ポンプ場の電気・機械設備の改築更新工事を行います。  
（令和3・4年度2ヶ年工事 事業費計：586,016千円）

### 8 環境にやさしい持続可能なまちづくり

### 拡充 環境学習事業

5,630 千円 予算書 117 ページ 《 担当 環境整備課 》

市の環境の現状を、多くの市民に理解してもらうため、効果的な環境啓発活動に取り組みます。体験型の環境体験学習や集客効果の高いイベント会場で環境に関する行事等を開催します。  
令和3年度は二酸化炭素の排出量削減に資する行動等地球環境にやさしい行動を促す取組を充実します。

### 地域不法投棄対策事業



9,791 千円 予算書 102 ページ 《 担当 環境整備課 》

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係部署と緊密に連携し、地域住民の協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。  
不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設監視カメラの効果的な活用に取り組みます。  
公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

### 環境衛生推進事業



5,556 千円 予算書 102 ~ 103 ページ 《 担当 環境整備課 》

「公衆衛生推進協議会」が取り組んでいるごみステーションの維持・管理や環境美化啓発看板の配布、花いっぱい運動などの地域に密着した環境美化活動を支援することで、きれいで快適なまちづくりを推進します。

### ごみ減量化・資源化促進事業



8,840 千円 予算書 114 ページ 《 担当 環境整備課 》

ごみの発生源を断つ（リフューズ）、ごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の4Rを実践する取組を積極的に推進します。  
ごみの減量化に取り組む資源回収団体に対する回収量に応じた報奨金の交付や、生ごみ処理容器購入費の助成により、家庭ごみの減量化に取り組みます。

## 9 生活環境に配慮した墓地・斎場の管理

### 斎場管理事業(施設改修)

12,265 千円 予算書 104 ページ 《 担当 環境整備課 》

施設の長寿命化のため、「斎場個別施設計画(長寿命化計画)」に基づき、中長期的視点による維持管理・更新を推進します。令和2年度に引き続き、令和3年度も、火葬炉1基の更新を行います。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

# 4 安全・安心

## 1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり

### 新規 都市計画一般事務 (大規模盛土造成地安全対策事業)

4,200 千円 予算書 146 ページ 《 担当 都市計画課 》

東日本大震災等において、谷や沢を埋めた造成宅地等で地すべりが生じ、崖崩れや土砂の流出による被害が発生しました。こうした被害を防止・軽減するため、大規模な盛土をした既存の造成宅地の安全性の確認を進めます。令和3年度は、現地踏査・優先度調査を行います。

## 拡充

### 自主防災組織育成指導事業

1,473 千円 予算書 161 ページ 《 担当 危機管理課 》

地域防災力の向上のため、自主防災組織への助成金交付や講師派遣等により、組織の立ち上げや防災訓練等の支援を行います。また、地域防災リーダー養成研修及びスキルアップ研修による防災知識の習得や技能向上を通じて、地域防災活動の担い手を育成します。さらに、令和3年度は、県の助成金を活用し、住民に早めの避難を促すための情報伝達訓練や避難訓練等を実施することにより「避難の呼びかけ体制づくり」に取り組みます。

### 浸水対策事業(立戸地区)

18,500 千円 予算書 141 ページ 《 担当 土木課 》

大雨時に発生している立戸二丁目地内の市道玖波青木線付近の浸水を緩和するため、令和2年度に引き続き雨水排水管の整備を行います。令和3年度に完成する見込みです。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

### 一般河川(水路)浚渫事業

158,000 千円 予算書 143 ページ 《 担当 土木課 》

令和2年度に引き続き河川氾濫等による浸水被害を防ぐため、市内の河川(水路)内に堆積している土砂を撤去します。令和3年度は、恵川(玖波工区)、大膳川、三ツ石川、南栄排水路、元町東栄排水路の浚渫工事を行います。

## 急傾斜地崩壊対策事業(市)

37,560 千円 予算書 143 ページ 《 担当 土木課 》

急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、対策工事を行います。令和3年度は、阿多田宮の下地区の崩壊対策工事を行います。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 急傾斜地崩壊対策事業(県)

625 千円 予算書 143 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する栗谷地区の急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担します。

### 2 事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり

#### 新規 防犯対策事業(防犯カメラ設置)

3,800 千円 予算書 55 ページ 《 担当 自治振興課 》

特に人や車の流れが多い箇所や通学路などに防犯カメラを設置し、地域の安全性を高めます。

### 3 市民の命を守る消防体制の充実

#### 新規 消防団資機材整備事業

(防火服一式・積載車・小型動力ポンプ整備事業)

10,293 千円 予算書 159 ページ 《 担当 消防本部 》

消防団第12分団第1部(木野地区)に積載車を、第11分団第1部(栗谷地区)に小型動力ポンプを配備します。また、消火活動時の安全確保のため消防団員の防火服を整備します。

#### 拡充 消防一般事務(消防救急デジタル無線維持管理事業)

11,198 千円 予算書 155 ページ 《 担当 消防本部 》

平成27年度に、広島都市圏(広島市・大竹市・廿日市市・江田島市及び府中町)で共同整備した消防救急デジタル無線の機器を部分更新し、消防通信の安定性を維持します。

## 5 健康・福祉

### 1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援

#### 高齢者離島対策事業(介護サービス利用支援事業)

701 千円 予算書 78 ページ 《 担当 地域介護課 》

阿多田地区に居住する高齢者が介護保険サービスを利用しやすくなるよう、サービス利用時のフェリー代を助成します。利用者に付添う介添人も助成の対象としています。



## 2 子どもと子育てを支える体制の充実

### 新規 未就学児等離島対策事業

275 千円 予算書 83 ページ 《 担当 福祉課 》

阿多田地区に居住する未就学児（未就学児が2人以上いる場合）及び未就学児のいる世帯の保護者を対象としたフェリー代の助成を行います。

### 子育て短期支援事業

192 千円 予算書 83 ページ 《 担当 福祉課 》

保護者が病気などで一時的に家庭において児童の養育が困難になった場合や、経済的理由などで緊急的に保護を必要とする母子を、施設で預かる「ショートステイ」、保護者が仕事などのため夜間や休日に家庭において児童の養育が困難な場合に施設で児童を預かる「トワイライトステイ」を実施します。

### こども医療費助成事業

59,492 千円 予算書 84 ページ 《 担当 保健医療課 》

満15歳に達する日以後最初の3月31日まで（中学卒業まで）のすべての子どもを対象に、医療費の自己負担額を一部助成します。  
このことで、こどもの疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな成長を促すとともに、子育て世帯の医療費の負担を軽減します。  
県の制度である未就学児に対する助成に加え、市の独自事業として小中学生を助成対象としています。

### 公立保育所等整備事業

748,181 千円 予算書 87,90~91 ページ 《 担当 福祉課 》

市役所敷地内になかはま保育所と立戸保育所を統合した保育施設、子育て支援センター、乳幼児健診等の母子保健事業も実施できる施設として（仮称）おがたこども園を令和4年4月から開設します。令和2年度に引き続き建設工事を行い、令和3年度中に完成する見込みです。

※ 31 ページの「令和3年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

### 私立保育所等委託事業（私立保育所等施設整備事業）

211,931 千円 予算書 87 ページ 《 担当 福祉課 》

令和4年4月から、大竹地区に新しく民間法人が幼保連携型認定こども園（私立）を開設します。令和3年度中に園舎を建設するため、国庫補助金を活用して市も補助金を支出します。

### 病児保育運営委託事業

12,095 千円 予算書 87 ~ 88 ページ 《 担当 福祉課 》

保護者の勤務の都合等により、家庭で保育できない生後6ヶ月から小学校6年生までの児童で、保育所（園）、幼稚園、小学校等に通えない病児や病後児を保育します。

※ 33 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

### 児童福祉相談事業

9,030 千円 予算書 89 ~ 90 ページ 《 担当 福祉課 》

専門知識を持つ相談員が0歳から18歳未満までの児童の養護、障害、非行、育成などについて、相談・助言を行います。また、児童虐待の防止や再発防止を図るため、相談体制を強化し、よりきめ細かな相談や支援を行います。

※ 32 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 子育て支援センター等運営管理事業



24,476 千円 予算書 90 ~ 91 ページ 《 担当 福祉課 》

乳幼児や保護者が相互に交流する場所を市内3箇所（子育て支援センター「どんぐりHOUSE」、さかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館）に開設し、子育てに関する講座の開催や子育て相談、情報の提供、子育てサークルの育成・支援などを行います。

※ 32, 33 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 利用者支援事業（ネウボラ）



14,008 千円 予算書 91~92,105 ページ 《 担当 福祉課 保健医療課 》

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う仕組み（＝ネウボラ）を構築し、令和2年度から実施しています。大竹市のネウボラは、市役所保健医療課に母子保健コーディネーター（保健師など）、子育て支援センターどんぐりHOUSEに子育て支援コーディネーター（利用者支援員＝専門研修を受けた保育士）を配置し、相互に連携しながら相談・支援・関係機関との連絡調整などを行います。

### 3 障害のある人が自分らしく生きるための支援

## 新規 精神障害者医療費助成事業

2,003 千円 予算書 72 ~ 73 ページ 《 担当 保健医療課 》

精神障害者保健福祉手帳1級所持者かつ自立支援医療精神通院医療受給者証所持者で一定の所得以下の方を対象に、通院医療費の自己負担額を一部助成します。

このことにより、精神疾病や身体合併症の重症化予防のほか、保健の向上や福祉の増進を図ります。

## 障害者等自立支援給付事業



546,738 千円 予算書 74 ~ 75 ページ 《 担当 福祉課 》

すべての障害者や障害児が、できるだけ身近な場所で必要な日常生活や社会生活を営むためのサービス事業（生活介護、就労継続支援B型、施設入所、グループホーム、補装具、自立支援医療等）の利用を支援します。

### 4 見守り支え合う地域福祉の推進

## 生活困窮者自立支援事業

20,422 千円 予算書 71 ページ 《 担当 福祉課 》

生活困窮者の自立支援策の強化のため、自立相談支援等の事業を実施します。

## 地域見守り活動事業



502 千円 予算書 71 ページ 《 担当 地域介護課 》

株式会社ちゅピCOMが大竹市民向けに提供している「見守りサービス」の安否確認メールシステムの初期導入費用及び月額利用料を公費負担し、見守りが必要な65歳以上の独居高齢者等の日常的な安否確認を行っています。

## 地域福祉担い手育成事業



12,000 千円 予算書 71 ~ 72 ページ 《 担当 地域介護課 》

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉を推進するための事業を実施します。地域サービスの創出・推進や、地域福祉の中核的な担い手の増加のため、地域福祉推進のボランティア団体の結成促進と育成を行います。

## 地域支援事業



186,292 千円

( 担当 地域介護課 )

被保険者が要介護・要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的としています。地域における包括的な相談及び支援体制、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、在宅医療と介護の連携体制及び認知症高齢者への支援体制の構築等を一体的に進めます。

介護予防・生活支援サービス事業 【予算書324号】	95,576 千円	要介護・要支援の状態になることを予防するとともに、要介護の状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを提供します。
一般介護予防事業 【予算書325号】	13,580 千円	いきいき百歳体操を軸に、介護予防を実践する人を増やしていきます。また、地域での活動や自宅での介護予防の実践は、元気で自立した生活につながり、教室に参加することが、閉じこもり防止や友人とのふれあいなど、普段の生活に生きがいを持つような支援となり、介護給付費の削減にもつながります。
包括的支援事業 【予算書325～326号】	66,844 千円	平成18年4月からサントピア大竹に大竹市地域包括支援センターを、平成27年7月からメープルヒル病院内に大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援センターを設置しました。それぞれ主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携し、総合的に高齢者を支えています。
任意事業 【予算書326～327号】	10,292 千円	介護給付費などの適正化に向けた取組を行うほか、認知症について理解を深めるための認知症サポーター養成講座や認知症カフェなどを開催します。 在宅の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センターが主体となり高齢者の見守りのためのネットワークづくりを進めます。

※ 34 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 医療体制支援事業 (救急相談センター運営事業)



817 千円 予算書

97 ページ ( 担当 保健医療課 )

連携中枢都市圏制度を活用し、広島市が主体となって広島市に設置する「救急相談センター」の事業費の一部を負担します。  
市民が急な病気やけがをしたときに、#7119番に電話すると、対応についてのアドバイスを受けることができます。また、緊急度が高いと判断した場合には、119番へ転送し、救急搬送につなげます。

## 産科医療施設人材確保支援事業



146 千円 予算書

97 ページ ( 担当 保健医療課 )

広島西二次保健医療圏(大竹市・廿日市市)の拠点病院であるJA広島総合病院の分娩を取り扱う医師の確保のため、廿日市市と共同で分娩手当を補助します。

## 予防接種推進事業

96,937 千円 予算書

97 ~ 98 ページ ( 担当 保健医療課 )

麻疹、風しんやポリオなどの人から人へ感染する恐れのある感染症の発生や蔓延を防ぐため、予防接種を実施します。  
個人の感染防御・重症化予防のため、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種を実施します。  
令和元年度から開始した成人の風しん抗体検査・予防接種事業、令和2年10月から開始したロタウイルスワクチン接種事業を継続します。  
市民に対する新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業を実施します。

## 妊産婦歯科健康診査事業



963 千円 予算書 105 ~ 106 ページ 《 担当 保健医療課 》

妊産婦自身の口腔内の衛生状況を健康に保つとともに、生まれてきた子どものむし歯のリスクを下げるため、妊娠中、産後の妊産婦の歯科健康診査の受診券を交付します。

口腔衛生の関心を高めて、生涯健康な歯をつくる契機とします。

## 妊婦乳幼児健康診査事業



20,381 千円 予算書 106 ページ 《 担当 保健医療課 》

妊婦・乳幼児の健康の保持・増進のため、妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の受診券を交付します。

定期的に健康診査を受けることで、異常の早期発見・早期治療につなげるとともに、経過観察や支援が必要な妊産婦や乳幼児への対応を行います。

## 不妊治療費助成事業



4,500 千円 予算書 107 ページ 《 担当 保健医療課 》

妊娠・出産を望む夫婦の希望を叶えるため、特定不妊治療に伴う経済的・精神的な負担を軽減することで、妊娠・出産しやすい環境づくりに取り組みます。

県が行う助成制度に上乘せして助成をするとともに、令和元年度からは、より多くの方が制度を利用できるよう、対象となる治療区分を増やしています。

【一般会計・国民健康保険特別会計】

## 健康づくり推進事業



114,898 千円

《 担当 保健医療課 》

生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について、正しい知識の普及啓発により市民の健康意識を高めるとともに、医療機関などと連携して市民の健康の保持・増進を図ります。

【一般会計】  
健康増進事業  
【予算書98頁】

5,711  
千円

市民が健康で自立した生活を維持するため、健康手帳の配布、健康教育、健康相談、訪問指導を実施します。

健康手帳の配布  
「自分の健康は、自分で守る」意識を醸成するため、健康診査の受診記録などをまとめておける手帳を配布します。

健康教育  
生活習慣病などの予防のため、健康教室やパンフレット配布などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識を普及します。

健康相談  
病気の発生や重症化の予防のため、健康診査の事後措置として、保健師や栄養士による個別相談を行います。

訪問指導  
健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行います。疾病を予防できるよう保健師などが家庭へ訪問し指導します。

【一般会計】  
歯科保健事業  
(節目歯科健診)  
【予算書99頁】

1,671  
千円

歯周病の予防及び早期発見により、高齢期における歯の喪失予防を図り、市民の健康維持及び向上のため、節目年齢(40歳・50歳・60歳・70歳)の方を対象に、500円で受けられる歯科健診を実施します。

<p>【一般会計】 がん検診及び健康診 査等事業 【予算書99ページ】</p>	<p>47,700 千円</p>	<p>がん検診 がんの早期発見・早期治療を促進するため、満 40歳以上の方（子宮頸がんは満20歳以上の女性） を対象にがん検診を実施します。 大腸がん検診は、対象のすべての方の自己負担 額を無料にします。 国民健康保険被保険者や後期高齢者医療保険被 保険者には、すべてのがん検診の自己負担額を無 料にします。</p> <p>一般健康診査 生活習慣病の予防や疾病などの早期治療を促進 するため、後期高齢者医療保険被保険者などを対 象として一般健康診査を実施します。</p> <p>肝炎ウイルス検診 ウイルス性肝炎の早期治療を促進するため、満 40歳以上の方を対象として肝炎ウイルス検診を実 施します。（過去の受診者を除く）</p>
<p>【国民健康保険特別会計】 特定健康診査等勸奨 事業 【予算書238ページ】</p>	<p>13,835 千円</p>	<p>特定健康診査の受診勧奨を強化し、特定保健指 導の利用勧奨を実施します。</p>
<p>【国民健康保険特別会計】 糖尿病対策推進事業 【予算書238～239ページ】</p>	<p>15,805 千円</p>	<p>糖尿病は脳卒中や心臓病など命に関わる病気の ほか、失明や人工透析など日常生活に重大な支障 をもたらす病気を発症させる原因となります。その 予防、重症化を防止する施策を大竹市医師会と 協議・検討しながら事業を展開することにより、 市民の健康を保持し、医療費の増大を抑制しま す。</p>
<p>【国民健康保険特別会計】 特定健康診査等事業 【予算書242ページ】</p>	<p>30,176 千円</p>	<p>40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対して、 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着 目した健康診査、保健指導を実施し、生活習慣病 の予防、改善を図ります。 特定健康診査・保健指導をより受けやすくする ため、自己負担額を無料としています。</p>

## 6 自治・行政運営

### 1 市民と行政の協働による地域づくり

#### 協働のまちづくり推進事業



1,400 千円 予算書 53 ページ 《 担当 自治振興課 》

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業  
に助成し、市民活動の自主性の向上を図ります。また、市民活動  
団体の活動中の事故を市民活動保険制度で補償します。

#### 地域活動促進事業



19,768 千円 予算書 53 ページ 《 担当 自治振興課 》

住みよい地域づくりに向けて取り組む自治会や、地域の連帯を  
深めて住みよい地域社会の形成に向けて取り組むコミュニティづ  
くり推進協議会等の活動を支援することで地域活動を促進しま  
す。  
《自治会活動支援事業・コミュニティづくり推進事業を統合》

## 2 将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営

### 新規 市税賦課徴収事業

(ペイジー口座振替受付サービス導入事業)

2,814 千円 予算書

( 担当 市民税務課 )

市民の納付の利便性と収納率向上のため、キャッシュカードを使って本庁窓口で市税等の口座振替登録の申込ができるようにします。

システム構築を行い、令和3年10月以降に口座振替受付サービスを開始予定です。

(対象税目等)

- ・個人市県民税，固定資産税，都市計画税，軽自動車税，国民健康保険料，介護保険料，後期高齢者医療保険料，保育料，副食費，市営住宅使用料，市営住宅駐車場使用料，放課後児童クラブ保護者負担金

※税目等にかかわらず，手続きは市民税務課で行います。

(事業費2,814千円の内訳及び予算書ページ)

- ・一般会計 1,125千円 (58～59ページ)
- ・国民健康保険特別会計 1,399千円 (232～233ページ)
- ・介護保険特別会計 145千円 (319～320ページ)
- ・後期高齢者医療特別会計 145千円 (347ページ)

### 新規 戸籍住民基本台帳事務(証明書コンビニ交付事業)

700 千円

60 ~ 61 ページ ( 担当 市民税務課 )

市民サービスの向上のため、マイナンバーカードを使ってコンビニエンスストアで住民票の写し等の証明書を取得できるようにします。令和2年度からの繰越予算(33,784千円)でシステムの構築を行い、令和4年3月から証明書コンビニ交付サービスを開始予定です。

(交付証明書の種類)

- ・住民票の写し，住民票記載事項証明書，印鑑登録証明書
- ・戸籍謄本，戸籍の附票の写し(大竹市に本籍がある人)
- ・所得課税証明書

### 新規 建設等一般事務(電子入札システム導入事業)

2,859 千円 予算書 133 ~ 134 ページ ( 担当 監理課 )

建設工事と建設工事に係る業務委託の入札について、県と県内市町が共同利用する電子入札システムを導入します。事務の効率化や入札機会の拡大、建設業者の費用低減などを推進します。

## 3 公営企業などの健全な経営

【水道・公共下水道事業会計】

### 新規 料金・使用料改定検討事業

2,344 千円 水道・公共下水道 45 ページ ( 担当 上下水道局 )  
事業会計予算書 133

令和2年度に策定した水道事業、公共下水道事業経営戦略に基づき、水道料金及び下水道使用料改定の必要性、水準及び時期等について、令和3年度から令和4年度にかけて検討を行います。

令和3年度は、検討に必要な情報の収集及び改定案の作成等を行う予定です。

(【全体事業費】水道事業会計：3,905千円，公共下水道事業会計：3,905千円，【令和3年度】水道事業会計：1,172千円，公共下水道事業会計：1,172千円)

### 土地開発公社経営健全化対策事業

10,565 千円 予算書 135 ページ ( 担当 監理課 )

土地開発公社の財務状況改善のため、利子補給や土地売却に伴う損失補填のための補助を行います。

## 令和3年度当初予算における再編交付金充当事業

再編交付金は、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」(再編特措法)に基づき交付されます。この法律は、平成18年5月の日米安全保障協議委員会で承認された駐留軍等の再編を円滑に実施することを目的としたものです。駐留軍等の再編を実現するために、再編対象となる防衛施設周辺地域の住民生活への影響の増加に配慮した特別措置として、再編交付金が交付されます。

平成19年10月31日に、岩国飛行場が「再編関連特定防衛施設」に指定され、大竹市は「再編関連特定周辺市町村」に指定されました。大竹市には、令和3年度まで再編交付金が交付される予定です。

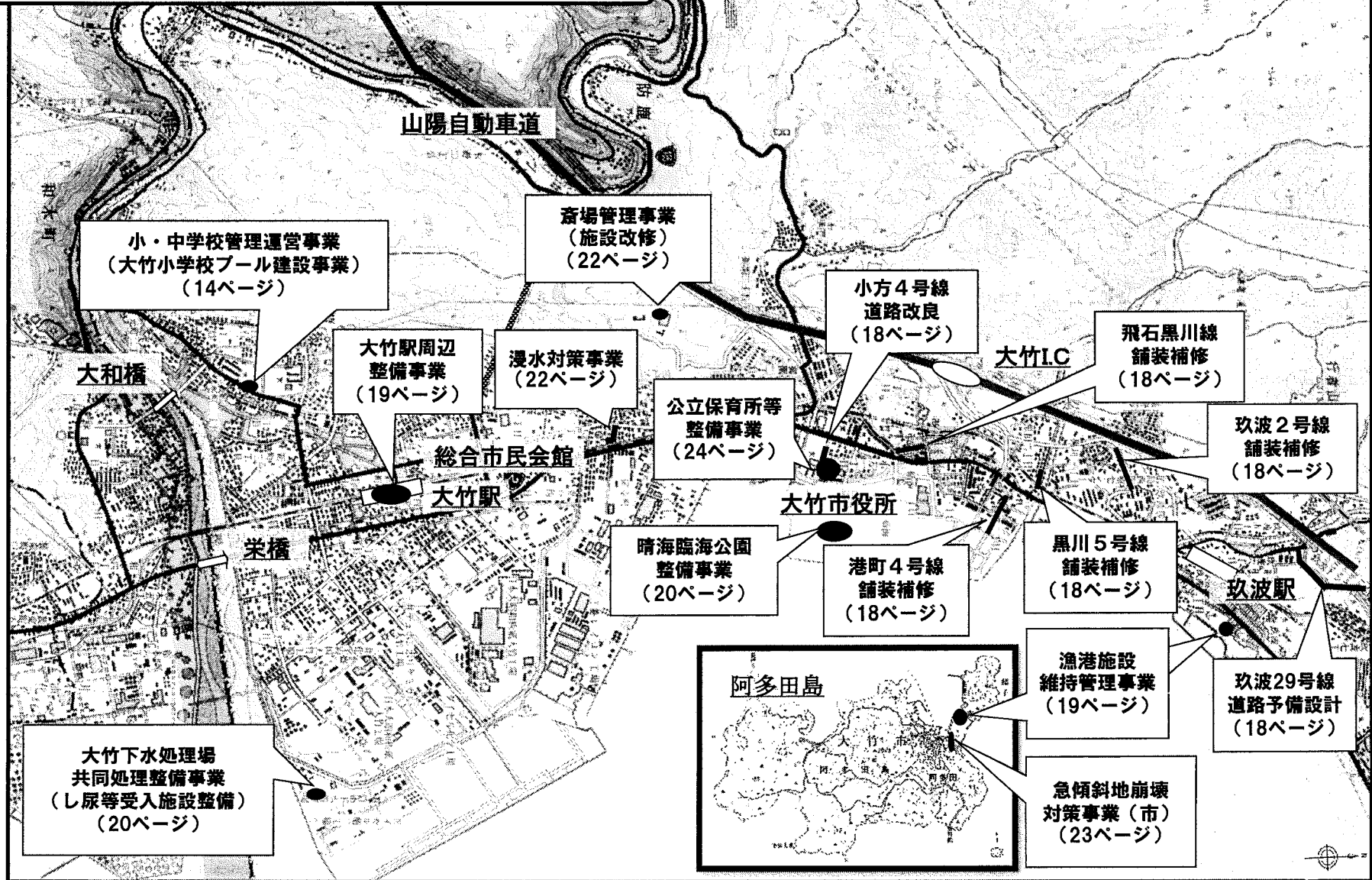
(再編交付金予算額) 259,500千円

令和3年度は、再編交付金を充当して次の事業を実施します。

(単位:千円)

事業		再編交付金充当額	主 な 内 容
基金積立	阿多田診療所基金事業	97,855	平成19年度に再編交付金を活用して、「阿多田診療所基金」を造成し、平成20年度から阿多田診療所の運営補助事業を実施しています。今後も安定的に継続して診療所の運営ができるよう、基金に積み立てます。
	防犯対策事業 (防犯カメラ設置)	3,420	特に人や車の流れが多い箇所や通学路などに防犯カメラを設置し、地域の安全性を高めます。
	小方4号線道路改良事業	19,000	小方ポンプ場から国道2号までの延長250mの内、約120m区間の道路改良工事を行います。
	浸水対策事業(立戸地区)	15,200	大雨時に発生している立戸二丁目地内の市道玖波青木線付近の浸水を緩和するため、令和2年度に引き続き雨水排水管の整備を行います。令和3年度に完成する見込みです。
	晴海臨海公園整備事業	57,000	晴海臨海公園では、これまでに球技場やテニスコート、管理棟等のスポーツゾーンの整備、大型遊具「ロボボファクトリー」等のファミリーゾーンの整備、展望施設やデイキャンプ施設等のシーサイドゾーンの整備を行ってきました。令和3年度は、多目的グラウンド(西側ゾーン)の雨水処理をするための雨水排水管整備や、園路を整備します。
	小方ヶ丘緑地安全対策事業	38,950	小方学園の通学路に指定されている県道乙瀬小方線の歩道整備(県施工)に伴い、その背後地にある小方ヶ丘緑地の安全対策として落石防護柵を整備します。
	大竹小学校プール建設事業	14,580	老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。 令和3年度は、両校の現プールの解体設計及び新たに建設するプールの設計業務を行います。
	社会教育施設等維持管理事業 (公民館長寿命化事業)	13,495	建設後40年以上経過する玖波公民館及び栄公民館について、平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画の基本方針に基づく施設の長寿命化を図るため、予防保全的な観点から外壁調査及び耐震診断を実施します。
合 計		259,500	

# 令和3年度主要建設事業実施MAP





## 各施設のご案内

### 放課後児童クラブ

15ページ

- ・あすなる児童クラブ（玖波七丁目1-1（玖波小学校内））
- ・みどり児童クラブ（小方ヶ丘1-2（小方学園内））
- ・ひかり児童クラブ（白石二丁目1-2（大竹小学校内））

【対象】 市内の小学生であって、保護者が仕事等の理由により昼間家庭にいない児童、及びこれに順ずる児童

【利用時間】 ≪平日≫ 下校時～18時

≪土曜・長期休暇（春・夏・冬休み）・学校行事等の代休日≫ 8時～18時

【電話】 28-5680（生涯学習課社会教育係）

### 大竹市こども相談室

15ページ

≪相談業務≫ いじめ、不登校などの教育に関する相談、子どもの性格上の問題、非行、児童への虐待などの子どもについての様々な相談に応じます。

≪適応指導≫ 学校と家庭の中間的な役割を担い、児童・生徒の学習する場の提供や、自立に向けたきめ細やかな支援を行います。

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日の8時30分～16時45分（木曜日は15時30分まで）

【電話】 54-0021（こども相談室）

### 大竹市家庭児童相談室

24ページ

≪相談業務≫ 家庭で養育困難な児童の養護、障害、非行、育成に関する、0歳から18歳未満までの子どもについての様々な相談に応じます。

【場所】 大竹市小方一丁目11-1（大竹市役所内）

【利用時間】 月～金曜日の9時～16時

【電話】 59-2151（家庭児童相談室）

59-2148（福祉課児童係）

### 子育て支援センター「どんぐりHOUSE」

25ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日 9時30分～12時／13時30分～16時30分

【電話】 54-0039（子育て支援センター）

59-2148（福祉課児童係）

## 各施設のご案内

### さかえ子育て支援センター

25ページ

- 【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者，子育てボランティアの方
- 【場所】 大竹市西栄三丁目12-25(さかえ保育所敷地内)
- 【利用時間】 月～金曜日 9時30分～12時/13時30分～16時30分
- 【電話】 53-9766(さかえ子育て支援センター) 59-2148(福祉課児童係)

### 松ヶ原こども館

25ページ

- 【対象】 乳幼児・小中学生と保護者，子育てボランティアの方
- 【場所】 大竹市松ヶ原町445-2
- 【利用時間】 月・火・水・金・土曜日 10時～16時(※臨時休館日有り(月1～2日程度))
- 【電話】 57-8333(松ヶ原こども館) 59-2148(福祉課児童係)
- 【ホームページアドレス】 <http://honobonon.client.jp/>(NPO法人子育てハッピーネットほのぼのん)

### 病児・病後児保育室「にっしーくんハウス」

24ページ

- 【対象】 生後6ヶ月から小学校6年生までの保育所，幼稚園及び小学校に在籍している病気または病気の回復期にある児童  
※ 事前登録が必要です。
- 【場所】 大竹市玖波四丁目1番1号(独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内)
- 【利用料金】 ○市内在住の方 1,000円 ○市外在住の方 2,000円  
(大竹市民のみ生活保護世帯，市民税非課税世帯には利用料免除の制度があります。)
- 【利用時間】 月～金曜日(祝日，年末年始(12/29～1/3)を除く) 8時15分～18時00分
- 【電話】 57-7183(にっしーくんハウス) 59-2148(福祉課児童係)

### 大竹市消費生活センター

17ページ

- 《相談業務》 訪問・通信・電話勧誘販売等による売買・契約に関するトラブル，はがき，携帯電話，インターネットを使った不当・架空請求，その他消費生活全般，クーリングオフについての相談など
- 【場所】 大竹市小方一丁目11-1(大竹市役所内)
- 【受付時間】 火・金曜日 9時～12時，13時～16時
- 【電話】 57-3236(消費生活センター)

## 各施設のご案内

### 大竹市地域包括支援センター

26ページ

- 〈事業内容〉
- 要支援1・2と認定された方の介護予防プランの作成や基本チェックリストで生活機能の低下がみられた方の介護予防ケアマネジメント
  - 高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業(介護保険外のサービスを含む)
  - 高齢者に対する虐待の早期発見・防止, 成年後見制度の活用など的高齢者の権利擁護事業
  - 関係機関や地域における連絡・協力体制の構築と支援困難事案のケアマネジャーへの支援

【場所】 大竹市西栄二丁目4-1(総合福祉センター(サントピア大竹)内)

【利用時間】 月～金曜日(祝日を除く)の8時30分～17時15分 【電話】 53-1165

### 広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

26ページ

- 〈事業内容〉
- 玖波地区にお住まいの方の介護保険に関することや高齢者に関するさまざまな相談の受付, 対応
  - 認知症に関する総合的な相談受付, 対応
  - 認知症に関する総合的・専門的な診断, 治療
  - 認知症初期集中支援チームによる認知症の方(認知症の疑いのある方を含む)及びその家族の初期段階における包括的・集中的な支援

【場所】 大竹市玖波五丁目2-1(メーブルヒル病院内)

【利用時間】 月～土曜日(祝日を除く)の8時30分～17時30分 【電話】 57-7461

# ◇問い合わせ先一覧◇

総務部	
総務課 《Eメール》	総務係 59-2120
	職員秘書係 59-2122 soumu@city.otake.hiroshima.jp
危機管理課 《Eメール》	保安防災係 59-2119 kikikanri@city.otake.hiroshima.jp
企画財政課 《Eメール》	企画係 59-2125
	財政係 59-2121
	情報広聴係 59-2124
	kikaku@city.otake.hiroshima.jp
産業振興課 《Eメール》	農林水産振興係 59-2130
	商工振興係 59-2131
	sangyo@city.otake.hiroshima.jp

市民生活部	
自治振興課 《Eメール》	自治振興係 59-2142
	人権推進係 59-2145 jichishinko@city.otake.hiroshima.jp
市民税務課 《Eメール》	収税係 59-2127
	市民税係 59-2128
	固定資産税係 59-2129
	戸籍住民係 59-2143 shiminzeimu@city.otake.hiroshima.jp
環境整備課 《Eメール》	環境整備係 59-2154
	kankyo@city.otake.hiroshima.jp
	リサイクルセンター 52-5101 kankyo-rc@city.otake.hiroshima.jp

健康福祉部	
福祉事務所	
地域介護課 《Eメール》	福祉総務係 59-2152
	介護高齢者係 59-2144
	地域支援係 28-6226 chiikikaigo@city.otake.hiroshima.jp
福祉課 《Eメール》	障害福祉係 59-2146
	児童係 59-2148
	保護係 59-2147
	fukushi@city.otake.hiroshima.jp
保健医療課 《Eメール》	国保年金係 59-2141
	保健予防係 59-2140
	健康増進係 59-2153
	hokeniryu@city.otake.hiroshima.jp

建設部	
監理課 《Eメール》	庶務係 59-2160
	用地係 59-2161 kanri@city.otake.hiroshima.jp
土木課 《Eメール》	管理係 59-2163
	維持係 59-2164
	工務係 59-2165
	doboku@city.otake.hiroshima.jp
都市計画課 《Eメール》	計画整備係 59-2167
	建築住宅係 59-2168 toshikei@city.otake.hiroshima.jp

教育委員会事務局	
総務学事課 《Eメール》	教育総務係 59-2184
	教育指導係 59-2185
	こども相談室 54-0021
	給食センター 57-7626 sougaku@city.otake.hiroshima.jp
生涯学習課 《Eメール》	社会教育係 53-5800
	28-5680
	施設スポーツ係 53-6677 seigaku@city.otake.hiroshima.jp

消防本部 《Eメール》	53-7708 shoubou@city.otake.hiroshima.jp
----------------	--

選挙管理委員会事務局 《Eメール》	59-2188 senkyo@city.otake.hiroshima.jp
----------------------	---

監査事務局 《Eメール》	59-2189 kansa@city.otake.hiroshima.jp
-----------------	--

農業委員会事務局 《Eメール》	59-2190 sangyo@city.otake.hiroshima.jp
--------------------	---

上下水道局 《Eメール》	業務課 総務係 59-2193
	営業係 59-2191
	工務課 上水道係 59-2192
	下水道係 59-2194 jougesui@city.otake.hiroshima.jp

議会事務局 《Eメール》	議事係 59-2183 gikai@city.otake.hiroshima.jp
-----------------	--

会計課 《Eメール》	会計係 59-2182 kaikai@city.otake.hiroshima.jp
---------------	---

【代表電話】	59-2111
【FAX】	57-7130(本庁)
【Eメールアドレス(代表)】	info@city.otake.hiroshima.jp
【ホームページアドレス】	http://www.city.otake.hiroshima.jp